

長岡京市  
環境の都づくり会議5周年記念誌

5年のあゆみ



## 目 次

1.	代表あいさつ .....	1
2.	市長の祝辞 .....	2
3.	関係者からのメッセージ .....	3
4.	5年の歩みと内外の主要な環境ニュース .....	5
5.	各プロジェクト活動報告	
	◇ 里山再生プロジェクト .....	9
	◇ ビオトーププロジェクト .....	17
	◇ エコチームプロジェクト .....	25
	◇ 環境教育プロジェクト .....	32
	◇ 歩いてまち再発見プロジェクト .....	40
	◇ まちあるきプロジェクト .....	43
	◇ 花を咲かそうプロジェクト .....	44
6.	環境の都ニュース .....	45
7.	メンバーの声 .....	54
8.	環境の都づくり会議入会案内 .....	58
9.	会則 .....	59
10.	役員名簿 .....	61



## 「環境の都」を目指して

— 今なら未だ、温度計の上昇を止められる！ —

長岡京市環境の都づくり会議 代表 江川宗治



平成 13 年に『長岡京市環境基本計画』が策定されたのを受け、翌平成 14 年 1 月 20 日に、「長岡京市環境の都づくり会議」が設立されて満 5 年を迎えました。

その間に、“里山再生”、“エコチーム”など各種プロジェクト活動や、定例的に実施している「市民環境フォーラム」、「環境教育ミーティング」等を通じて多数の市民の皆様にご参加いただき、また地元企業や関係団体各位にご協力・ご支援を頂戴して、活動を継続できていることを感謝いたしております。

これまでの主な活動を振り返ってみますと、(平成 19 年 1 月末現在)

市民環境フォーラム : 述べ 10 回開催、約 600 人参加

環境教育ミーティング : 延べ 29 回開催、約 500 人参加

環境の都ニュース : 隔月発行で 29 号と臨時号 2 回の計 31 回発行

森林ボランティア活動(他団体と共催) : 毎月 2 回定例開催

間伐材等の利用・木工教室、自然調査(里山再生市民フォーラムに参画)

ビオトープ作り(地元小学校などと一緒に)、小泉川水質調査、竹炭作り

市民共同おひさま発電所設置運動 ⇒ 『ゆりかご保育園』に 1 号機設置

(平成 16 年 3 月 25 日運転開始)

ふるさと再発見まち歩き : 一時活動を中断していたが昨年より再開

各種地元行事に参画して環境意識啓発

● 「京都環境フェスティバル」(京都府主催)に出展・・・2004～2006 年

● 「京都議定書発効記念行事」パレード・フォーラムに参加・・・2005 年

● 長岡京市内小学校校区祭りに参加・・・小学校区毎に例年数校区

しかし、活動には多くの課題や悩みがあることも事実です。

果たしてどれだけの成果が出ているのか、環境基本計画という広範囲を網羅した理想的

施策の数々がどれだけ進展しているのか、会員数も伸び悩み、女性や若年層の参加も少

ない状況をどう打破するのか、ボランティア団体という資金面の問題等々があります。

一方逆に、実際に取組んでみると、営利活動でない清々しさが結構心地よく感じられ、

会員一同忙しい中、時間をやり繰りして気に入ったテーマに楽しく取組んでいます。

これから会員になろうかと躊躇されている方、お気軽に声をかけてみてください。

21 世紀に宇宙船“地球号”に乗り組んでいる貴方も、後世に『美しく青い地球を快適な

環境で引き継いでいくために、我々と一緒に身近な出来ることから取組んで行こうでは

ありませんか！





### 環境の都づくり 5周年を記念して

市長川島 夫升 議会より「時の京東市京岡長



### 長岡京市長 小田 豊

長岡京市環境の都づくり会議が、発足から5周年を迎えられましたことに心からお喜び申しあげますとともに、これを機に記念誌を発刊されますことは、誠に意義深いことであり心からお祝い申し上げます。

さて、本市では、平成11年度から市民とのパートナーシップによる「市民環境会議」を組織し、多くの市民の皆さんのご参加をいただいて約2年間にわたって取り組み、13年3月に策定をしたのが環境基本計画であります。本計画は、我がまちの環境のまちづくりの「ガイドライン」であり、総合的な環境のまちづくりビジョンを示したもので、持続可能な「環境の都づくり」の方向性を示したものであります。

この計画を、市民・事業者・諸団体など地域のさまざまな立場の方々が、率先して互いに協力・信頼関係を育てながら、パートナーシップで進めていこうと結成されたのが「長岡京市環境の都づくり会議」であります。

早いもので、発足から5年が経過をし、その間できることから始めようといくつものプロジェクトを立ち上げられ、また、10回にも及ぶ市民環境フォーラムを開催されるなど、「つむぎ織りなす“環境の都”長岡京」をめざして、様々な活動を続けてこられましたことに対しまして、心より厚くお礼申し上げます。

本市では、環境基本計画の推進につきまして、環境の都づくり会議の皆さんとのパートナーシップのもとで、現在取り組み中のプロジェクトの実現に向けて共に進めていきますとともに、実施の段階には至っていない他のプロジェクトにつきましても、出来るものから具体的な行動を起こしていくことが、将来の本市の環境の都づくりに繋がるのではないかと考えておりますので、今後ともご理解をいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、持続可能な「環境の都づくり」の実現をめざして、貴会議の今後ますますのご発展と関係各位の熱き思いにご期待を申し上げ、お祝いのごことばといたします。



## 関係者からのメッセージ

みどりの西山を未来へ

柳谷楊谷寺山主 日下 悌宏

緑の環境を保全していくことは、緊急の課題であり、私たちが未来へ受け継ぐべき義務と考えます。当山は山中にあり、山林を多く所有しております。漫然と放置しておくことでは管理・保全できません。常に木々・植生の状態を見守り、間伐や下草刈り等、適度に手を入れなければなりません。そして同時に将来に残すべく、山の状態に応じた苗木を植えることでようやく基本的な管理ができます。単なる寺院の山・緑と考えるのではなく、人類全体の財産であるとの問題意識をもって、今後も怠ることなく緑の西山を守るべく微力ながら努力していく所存です。

五周年おめでとうございます

吉橋 久美子

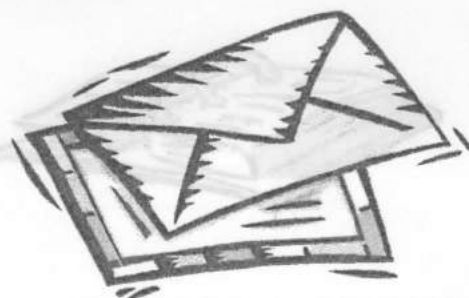
「脱温暖化のまちづくり」をテーマにした冊子(\*)の取材のために江川宗治代表をお尋ねしたのは2年ほど前でした。本格的な住民参画を経験した市民のみなさんが多様なアプローチで環境の都づくりを進める先進事例として掲載させていただきました。自由度の高さ、難しい制約がないことなどが継続の秘訣と伺いましたが、また改めてニュースレターを拝見すると、柔らかな形はそのままに、どんどん進化している様子が伺えます。環境への思いがカタチとなる場は宝物だと思います。ますますのご発展をお祈り申し上げます。

\*「ひろしま 五つのまちの物語」広島県地球温暖化防止活動推進センター 発行

環境の都をめざして共に歩もう

環境政策推進課長 長谷川 昭

環境の都づくり会議が組織されてはや5年が経過しました。その間、会員も皆様には、里山再生やサンさんプロジェクト、ピオトープ、環境教育など様々なプロジェクトに取り組み、成果を上げてこられたことに敬意を表しますとともに、記念誌の発行を機に、さらに貴会議とのパートナーシップを深め、環境の都づくりをめざして共に歩んでいきたいと思っております。



長岡京市市民活動サポートセンター  
大日 美紀子

環境の都づくり会議の皆様、いつもありがとうございます。

どんなイベントや講演会などでも、いつも一番早くから最後までお手伝いして下さるのが『環境の都』の皆様です。それも、黙々と楽しそうに……。市民活動家のまじりは、自分も楽しんでやろう！を実践しているらっしゃると思うのです。これからの人生は、自分も楽しく、仲間を作って、せめて、少しでも世のため、人のため(?)になるようなことをしたいという共通の願いを持って、これからも、よろしくお祈りします。長岡京市民活動の中心となって、楽しく町づくりをしていきましょう！

さらなる地域の取組の輪を広げて  
京都府地球温暖化防止活動推進センター  
副理事長 浅岡 美恵

市民環境会議の皆様が5年間も、おひさま発電所を完成させるなど地道な活動を続けてこられたことは、とてもすばらしいことです。誰もが気候がおかしいことに気づき、それが人間活動のあり方によることにも気づいてきています。しかしながら、皆様が始められてからも気候の異変は加速的に進行しており、最新の世界の科学者たちの将来予測は大変厳しいものです。「今」が、子どもたちの未来のために、本当に重要なときです。5年の経験を活かして、より大きな輪となって、「環境の都」長岡京を築いていけますよう期待しています。



「日本の都」から「環境の都」へ  
環境政策推進課一同(環都事務局)

平成13年3月「長岡京市環境基本計画」を策定後、「何らかの活動をしませんか。」と呼びかけて5年が経ちました。

設立当初のメンバーから一部代わられました。地道な活動を継続していただいていることに感謝申し上げます。

各種プロジェクトを立ち上げて活動をされ、一定の成果を上げられてきました。中でも、おひさま発電所1号の完成は、市民の力を結集した成果であり敬意を表します。

今後も、皆さんの活動がスムーズに進められるようにサポートしながら、長岡京市が『環境首都』と呼ばれるように、共に手を携えて進めていきたいと考えております。

環境の都づくり会議設立5周年を祝して  
長岡京市女性の会 秦 陽子

女性の会が、京都府の委託を受け実施した地域の「きずな」創造事業で、環境の都づくり会議と合同の講演会を、昨年10月21日に行いました。講師は副代表の西村日出男先生にお願いしました。「もったいないの心で地球が生きる」というテーマで、限りある地球の資源を大切に守り、次世代に引き継いでいくことの大切さをお話頂きました。地球温暖化防止に向けた取り組みをこれからもお互いに進め、できることから実践していきたいと考えています。

長岡京市環境の都づくり会議初代代表  
鶴野 高資

環境の都づくり会議発足5年にわたる関係諸各位様のご努力に厚く感謝致します。



私事1999年度市民環境会議以来長岡京市内の環境問題に取り組んでいますが、依然としてフルタイムのサラリーマン生活と掛持ちの為、地道な日常活動に参加出来ずに申し訳ございません。その分出来る限り内外のメディア情報を入手したり各種のシンポジウム、フォーラムに参加したり、大学の先生方との接触において町づくりから人づくりや行政運営に至る迄各種の政策提言をさせていただいています。





今後環境の都づくり会議のさらなる発展を期して、基本とする官民のパートナーシップ原則のもと、日常の地道な活動と政策提言力の両輪がしっかり回っていく体制になっていっていただければと念じています。

しかし、いずれにしても係わる皆様楽しくやっていくことが必須です。






## 5年の歩みと内外の主要な環境ニュース

年(平成)	環都の歩み	内外の環境ニュース
11年 (1999)	<p>『長岡京市環境基本計画』立案プロジェクト発足 公募委員会を中心とする「市民環境会議」が組織され、策定主体となった。「街づくり」「自然」「循環」「ネットワーク」の四つの部会設置</p> 	ダイオキシン特別措置法制定
12年 (2000)		循環型社会形成基本法制定 改正リサイクル法制定
13年 (2001)	<p>3月 『長岡京市環境基本計画』策定完了</p> <p>8月20日 「長岡京市環境の都づくり会議」会則を作成 7つの活動事業(プロジェクト)を設定</p>	環境報告書ガイドライン (環境庁が環境省に改編)
14年 (2002)	<p>1月20日 「長岡京市環境の都づくり会議」正式発足 第1回「長岡京市民環境フォーラム」開催 「2025年持続可能な社会のシナリオ」松下電器 富永氏、 「環境首都への道のり」環境市民 スギ本氏 …中央公民館にて 38名出席</p> <p>3/21(木) 第2回「長岡京市民環境フォーラム」開催 「使って楽しいふるさとクーポン(地域通貨)」NPO政策研究所 内山氏 …開田自治会館にて 21名参加</p> <p>6/15 第3回「長岡京市民環境フォーラム」開催 「長岡京市の緑の環境を考える」→“私たちのまちの環境を考える” 緑の協会 永田氏、森林組合 立林氏 …産業文化会館にて</p> <p>10/26 第4回「長岡京市民環境フォーラム」開催 「長岡京市のゴミ回収とゴミリサイクルを考える」市役所衛生課上村氏 サントリー河野氏、他3名の講師…産業文化会館にて 51名参加</p>	京都議定書批准(我国)  2/27 長岡京市「ISO14001」 の認証取得

年(平成)	環都の歩み	内外の環境ニュース
15年 (2003)	<p>3/29 第5回「長岡京市民環境フォーラム」開催  “長岡京市内の生物と自然を考える”(第4小学校校区)、  村田泰隆氏の蝶の写真、篠原・田丸両氏指導による童謡  合唱・・・4小にて80名参加</p> <p>4月 「市民共同おひさま発電所」設置活動スタート</p> <p>10/26 第6回「長岡京市民環境フォーラム」開催  「地球温暖化防止に向けて具体的行動を！」  →“家族そろって省エネ体験”  近畿経済産業局 村木氏・・・産業文化会館</p> 	<p>EU、有害物質使用規制指令  〔RoHS指令〕、廃電気電子  機器指令〔WEEE指令〕採択</p>
16年	<p>3/25 ゆりかご保育園おひさま発電所“サンさん1号”  が完成し、点灯式実施</p>   <p>5/16 第7回「長岡京市民環境フォーラム」開催  「地球温暖化ってなあ～に？」手作り寸劇“森をつくろう”  環都会員、ゆりかご保育園園児、一般市民他 産業文化会館</p>  <p>12/11, 12 「京都環境フェスティバル」に出展</p>	<p>国土交通省  「環境行動計画」発行  — 国土交通行政のグリーン化を  目指して —  (ライフサイクルマネジメントの導  入、環境負荷の小さい交通への転  換、持続可能な国土の形成等)</p>



年(平成)	環都の歩み	内外の環境ニュース
17年 (2005)	<p>2/2 広島県視察団来訪 (環都、ゆりかごおひさま発電所)</p> <p>2/16 京都議定書発効記念行事(パレード、国際会議場でのフォーラム)に参加</p>  <p>5/7 第8回「長岡京市民環境フォーラム」開催 「風を感じ 風と遊び 風に学ぶ」* 小泉川ビオトープ” 見学</p>  <p>5小にて；環都会員、児童、ゆりかご保育園児、市民 約50名参加</p> <p>11/27 第9回「長岡京市民環境フォーラム」開催 「ストップ・ザ温暖化～地球と家計にやさしい暮らしづくり」</p>  <p>12/10, 11 「京都環境フェスティバル」に出展</p>	<p>京都議定書発効(2/16)</p> <p>『愛・地球博』開催 (3/25～9/25) テーマ“自然の叡智”</p> <p>「西山森林整備推進協議会」 発足(6月)</p>

年(平成)	環都の歩み	内外の環境ニュース
18年 (2006)	<p>5/30 袋井市視察団来訪 (環都、ゆりかごおひさま発電所)</p> <p>6/23 枚方市視察団来訪 (環都、ゆりかごおひさま発電所)</p> <p>9/7 「乙訓の環境を考える交流会」(乙訓保健所主催)に参加</p> <p>11/18 第10回「長岡京市民環境フォーラム」開催 「天ぷら油で車を走らそう」 中央公民館市民ホールにて 上森氏のBDF講演、廃食用油回収事例報告など</p> <p>12/9, 10 「京都環境フェスティバル」に出展</p> 	<p>『温暖化防止』2013年以降の枠組み 検討スケジュール決定</p> <p>「アスベスト新法」施行(3月) …健康被害者救済制度</p> <p>「長岡京市まちをきれいにする条例」(7月施行)</p> <p>“大気中のCO<sub>2</sub>濃度が史上最高”(世界気象機関11/3発表)</p>
19年 (2007)	<p>3/6 廃食用油回収・BDF利用交流集会 (京都府地球温暖化防止活動推進センター主催)</p> 	



## 市民参加の里山再生プロジェクト5年間(2001年度~2005年度)の活動記録

長岡京市環境基本計画策定(平成13年3月)の循環部会、「里山再生と水循環」の内容を受け、市民参加の里山再生プロジェクト(以下里山再生P)は2001年(平成13年)5月より、活動を開始しました。

以前より西山の森林をフィールドにしている各種団体(乙訓パオ、乙訓の自然を守る会、長岡創生塾・竹工房、緑の会・西山、(財)緑の協会)との協働を方針として、現在はこれらの団体を包含している長岡京市里山再生市民フォーラムに参画する形で活動を行っています。

対象フィールドとしては、当初より奥海印寺・池の尾の長岡京市の市有地を中心に行っています。

5年間の活動日数は314日、延べ参加人員は3,277人となっています。

この間財政的には、長岡京市環境政策推進課の他、(社)国土緑化推進機構、(財)長岡京市水基金の助成を得て活動を続け、平成17年には西山森林整備推進協議会の発足もあり、基盤を得たことから、現在約30名が活動を継続中です。

### 5年間の主な活動内容

#### 1) 森林ボランティア

間伐、下草刈り、植樹、まつたけ林整備、観察道整備、遊歩道整備、など、当プロジェクトの主たる活動です。現在は月2回、第1日曜、第3日曜を定例活動日としています。

①17年度末現在、対象地の20%に当たる区域(5,200㎡)の間伐と下草刈を実施した結果、地面に光が射し込むようになり、オオバノトンボソウなどが芽を出しています。

②17年4月、岩手県より帰京されたマツタケの吉村文彦先生の指導を受け、堆積した落葉をはがし、松林をマツタケ林として整備を行っています。

③送電線下の比較的樹相の豊かな区間約500mを観察道として整備、みちづくり、木の名札掛けを行いました。

(歩道整備)



(まつたけ林の整備)



#### 2) 間伐材等の利用

竹炭製造(当初より継続実施)、子供工作教室(14年度より継続実施)、大人木工教室(16年度より継続実施)クリスマスリースづくり(14年度より継続実施)、しいたけづくり(16年度より継続実施)等を行っています。

(夏休み子ども里山工作教室)





### 3) 自然調査

池の尾地域の草、木、鳥類の調査を実施、17年3月に発表、報告しました。草花32種、樹木59種、鳥類67種が確認されています。樹木としては、ヒサカキ、サカキ、ソヨゴ、コバノミツバツツジ、赤松などが多く、鳥類はメジロ、コゲラ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリなどが年中観察されています。

自然観察会、木の名札かけなどを適宜実施しています。

(ささゆり)



(18年1月)、森林ボランティア行事、ガラシャ祭などで協働しました。

(ガラシャ祭出品)



### 4) 講演会の開催

16年3月、17年7月の2回にわたり、滋賀県立大学環境科学部の野間直彦先生の講演会「里山の生物、環境、新しい利用の可能性」を開催、里山の整備や木のエネルギー利用の方向性についてご指導をいただきました。

### 5) 西山森林整備推進協議会の発足

山崎にウイスキー蒸留所、長岡京市にビール工場を持つサントリー(株)の働きかけもあり、西山の里山機能を再生させるため、産、官、学、市民からなる西山森林整備推進協議会が平成17年6月に発足しました。

環境の都づくり会議・里山再生Pは当初より積極的に参画し、初年度(平成17年度)は西山森林整備構想の策定



## 環境の都づくり会議市民参加の里山再生プロジェクト

### 13年度活動記録

里山再生プロジェクトが目指しているもの

- ・里山を手入することにより、生き物（植物、動物）の多様性を取り戻す
- ・里山の自然循環をいかした、燃料や食べ物のある程度の自給による廃棄物や炭酸ガスの削減
- ・安全で、おいしい水や農産物の生産の基礎になる水、土を生き生きさせる

活動記録

- 1、竹の子堀体験 5月6日（日） 15名参加  
湯川周子さんの藪で、竹の子堀体験と焼き竹の子（食事）
- 2、西山鳥瞰図づくり・第1回 7月29日（日）  
7名参加（市民会議メンバー 3名）  
高山栄さんの指導で、西山の竹の侵食状況の調査ときのこなどの自然観察
- 3、森林ボランティア体験 10月28日（日） 6名参加（メンバー 3名）  
みどりの会・西山の田村治夫さんの指導で揚谷寺山林の間伐と下草刈りの体験
- 4、竹林整備・竹炭づくり体験学習 11月10日（土）  
6名参加（メンバー 3名）  
長岡創生塾・竹工房・須田晃弘さんの指導で竹林整備、竹炭焼成の説明を受ける
- 5、西山鳥瞰図づくり・第3回 11月25日（日） 4名参加（メンバー 1名）
- 6、竹炭づくり体験学習 12月8日（土）～12月23日（日）  
15名参加（メンバー 3名）  
長岡創生塾・竹工房・松村尚洋さんの指導で竹炭づくりの一連の過程を経験  
初日の竹割りには、京大ハンドボール部の学生さん8名の参加もありました
- 7、日吉町「府民の森」見学 2月9日（土） 13名参加  
木工体験教室（本立て若しくはプランター）  
講演（森林の施業技術…京都府森と緑の公社・中尾局長）  
温泉（スプリングひよし）入湯
- 8、竹炭づくり体験学習・第2回 2月16日（土）～3月3日（日）  
10名参加  
前回の焼成が不調に終わったこともあり再度挑戦、成功しました  
新参加者も5名おられ、良い経験となりました
- 9、その他講演会などへの参加
  - ・新エネルギーセミナー（主催・滋賀県） 2月2日（土）
  - ・第12回「竹とくらし いま あした」（主催・京都府立大学竹類文化研究会）  
3月30日（土） 以上

（合計 実施日数 28日 延参加人員 100名）

## 市民参加の里山再生プロジェクト14年度活動記録

里山再生プロジェクトが目指しているもの

- ・里山を手入することにより、生き物（植物、動物）の多様性を取り戻す
- ・里山の自然循環をいかした、燃料や食べ物のある程度の自給による廃棄物や炭酸ガスの削減
- ・安全で、おいしい水や農産物の生産の基礎になる水、土を生き生きさせる

活動記録

- 10、竹の子まつり参加 5月4日（土）5日（日） 里山メンバー2名参加  
長岡天満宮で、里山再生PRと竹炭販売
- 11、竹炭づくり・第3回 6月22日（土）～7月7日（日） 成功  
里山メンバー 3名参加  
松村さん、須田さんの指導。立林森林組合長さんを含め見学者6名。
- 12、平安神宮へ竹炭納入 7月13日（土）平安神宮・本多禰宜さんと打合せ  
7月23日（火）竹炭50kg設置
- 13、水フォーラムプレイベント（桂川治水、利水対策協議会他主催）講演会参加  
8月10日（土）長岡京市中央公民館
- 14、木工教室 8月19日（月）、22日（木）、26日（月）  
午前・午後2回 計6回 塚田さんのグループの指導  
夏休みの親子（小学生中心）103名参加
- 15、里山勉強会（1）9月21日（土）7名参加
- 16、里山勉強会（2）9月28日（土）3名参加  
この結果を実施計画としてまとめ、12月10日事務局会議に提出
- 17、世界水フォーラムプレイベントイン日吉町に参加  
10月19日（土）殿田交流センター 現地
- 18、竹炭づくり・第4回 11月2日（土）～11月16日（土） 成功  
里山メンバー 5名参加（宮城さん、秋山さん初参加）  
立林森林組合長さん4日（祭）参加
- 10、クリスマスリースづくり 11月30日（土） 午前・午後2回  
女性21名参加 マミフラワーデザイン教室・京都藤田恵子指定教室・  
粉川佐知子さん（里山メンバー）の指導
- 11、宇治里山ビオトープ塾参加 平成15年1月11日（土）  
宇治市中央公民館、現地 3名参加
- 12、森林ボランティア（市管理山林）2名参加 2月11日（火・祝）  
西山キャンプ場近くの山林の間伐と下草刈り
- 13、木質ペレット工場見学、櫻田温泉見学 2月15日（土）  
18名参加 高槻のペレット製造工場、しいたけ栽培場の見学  
ペレットを燃料にしている櫻田温泉の見学と入湯
- 14、竹炭づくり・第5回 2月22日（土）～3月8日（土） 成功  
里山メンバー 6名参加（田原さん初参加）
- 15、世界水フォーラム「桂川流域に関するディスカッション」 3月23日（日）  
ハートピア4階 京北町、日吉町他のワークショップの総括に参加
- 16、森林ボランティア（市管理山林）4名参加 3月30日（日）  
西山キャンプ場近くの山林に約300本の赤松を植樹  
（合計 実施日数 47日 延参加人数 344名）

以上



長岡京市環境の都づくり会議(16, 5, 16)報告資料

市民参加の里山再生プロジェクト15年度活動記録

1) 里山再生プロジェクトが目指しているもの

- ・里山を手入することにより、生き物(植物、動物)の多様性を取り戻す
- ・里山の自然環境を生かした、燃料や食べ物のある程度の自給による廃棄物や炭酸ガスの減少
- ・安全でおいしい水や農産物の生産の基礎になる水、土を生き生きさせる

2) 活動の内容

活動名	実施日	活動地	活動内容	活動人員(延)	備考(間伐面積など)
間伐作業	5/4,8/1,7/6,8/3,9/7,9/2 1,10/19,11/2,12/7,1/4,2 /1,3/7	池の尾地区	間伐、徐伐	132名	
森林ボランティアの日	9/21,	同上	チェーンソウの使い方 植生・鳥類調査	16名	
植林活動	4/10,	同上	赤松300本植樹	15名	
椎茸植付	3/7,	同上	こならに椎茸菌植付	8名	1,600の菌植付
植生、鳥類調査	9/21,10/19,11/2, 12/7,1/13,	同上	種類、本数などの調査	37名	
竹炭焼成	6/15-7/19,7/19- 7/26,8/4-8/15,11/5- 11/20,2/23-3/6,3/11- 3/31,	粟生竹藪	竹炭、煤竹焼成	60名	
里山工作教室	8/19,8/25,8/30	グリーンハウス	里山の素材を使った工作	96名	好評 青少年30
クリスマスリースづくり	11/2,	サポートセンター	里山素材を使ったクリスマスリースづくり	27名	好評 青少年3
講演会	3/23,	中央公民館	里山保全とバイオマス利用 滋 賀県立大学 野間先生講演	23名	好評 青少年45
市民環境フォーラム	10/26,	産業文化会館	活動紹介ブース展示	90名	
合計	79日			504名	青少年 78

- 3) 活動の成果
1. 対象地(池の尾地区)の8%に当たる区域(2,000㎡)の間伐と下草刈りを実施した結果、地面に光が射しこむようになった。
  2. 対象地域全域の植生調査、鳥類調査を行った。
  3. 対象地域の植生、鳥類の案内板を作成した。
  4. 赤松300本を植林した。
  5. 森林ボランティアの日の活動を行った。
  6. 間伐は保存する樹種を選別、表示して残した。
  7. 間伐作業の日を毎月第一日曜日に決めたので、都度通知なくても集まるようになった。
  8. 希少植物(笹ゆり、ききょう)の養育に取りかかった。
  9. 間伐や植林による炭酸ガス減少や地球温暖化防止効果の計量的把握は次年度の課題。

4) 参加者の感想など

1. 里山工作教室の新聞報道…別添
2. 9月21日、森林ボランティアの日の作業内容 参加者 16名
  - 1) 田村さんの指導による、チェーンソウ、なたの使い方、かかり木などの処理と実際の間伐作業
  - 2) フィールド調査、今回のフィールドとなる池の尾の踏査、数カ所の小さい滝、橋が多い場所、ぎんりょう草、サルノコシカケ、ふゆいちご、さんしょ草などを調査、観察しました。
3. 3月7日午後 椎茸菌植付の作業内容  
参加者 8名 50~60本のこならのほだ木に、1,600の菌を打ち込みました。  
緑の協会からお借りした、小型発電機、3つのドリルが威力を発揮しました。  
3時過ぎ、ほだ木にシートをかけ菌が回るようにして下山。

- 5) その他 15年度は(社)国土緑化推進機構、(財)長岡京水資源対策基金の助成を受けました。  
以上

環境の都づくり会議 里山再生プロジェクト16年度活動報告

17. 4. 7 作成

事業の概要 1)活動の目的・里山を手入することにより、生き物(植物、動物)の多様性を取り戻す  
 ・里山の自然環境を生かした、燃料や食べ物のある程度の自給による廃棄物や炭酸ガスの減少  
 ・安全でおいしい水や農産物の生産の基礎になる水、土、空気を生き生きさせる

2)活動の目標・「四季を感じられる山」に整備する

2)活動の内容

活動名	実施日	活動地	活動内容	活動人員(証)	備考(間伐面積など)
間伐作業	4/29,5/2,6/6,6/20,7/4,8/1,9/11,10/3,11/7,12/19,1/1,6,2/6,3/6,3/14,15	池の尾地区	間伐、徐伐	110名	2,500㎡整備
森林ボランティアの日	9/21,	同上	間伐体験、植物観察、木の名札かけ	16名	青少年2名
植林活動	2/27,	同上	山桜など35本植樹 ききょう植付 50本	20名	青少年1名
椎茸植付	2/6,3/21	同上	こならに椎茸菌植付	4名	2,000の菌植付
植生、鳥類調査	5/29,9/21,9/28,11/30,2/27,	同上	種類、本数などの調査、残す木の選定	37名	
散策道調査	2/12	同上	新散策道調査	3名	
竹炭焼成	2/25~3/19	粟生竹藪	竹炭、煤竹焼成	90名	
里山工作教室	7/31,8/19	グリーンハウス	里山の素材を使った工作	62名	好評 青少年20名
クリスマスリースづくり	10/16,10/17,11/3,11/21	サポートセンター	里山素材を使ったクリスマスリースづくり	39名	好評 青少年1名
フォーラム、友好祭	5/16,9/26,2/19	産業文化会館、長中、長3	活動内容展示、木工教室、物品販売	311名	好評 青少年300名
勉強会	10/30,3/19,3/24	サポートセンター他	講演会参加2回	6名	
打合せなど	5/15,8/26,7/3,1/6,1/26,3/25	グリーンハウス他		21名	
合計	58日			719名	青少年 324名

3)活動の成果

間伐、徐伐活動 1、対象地(池の尾地区)の15%に当たる区域(3,900㎡)の間伐と下草刈りを実施した結果、地面に光が射しこむようになった。

2、間伐は保存する樹種を選別、表示して残した。3、森林ボランティアの日の活動を行った。

植樹活動 1、山桜、エノキなど30本を植樹した。2、希少植物(ききょう)50本を植えつけた。

3、希少植物(ききょう、ささゆり、かわらなでしこ)の養殖を行っている。

調査活動 1、対象地域全域の植生調査、鳥類調査を行った。

2、対象地域の植生、鳥類の案内板を作成した。3、散策道の調査を行った。

間伐材利用 1、大人、子供工作教室、クリスマスリースづくり

2、花壇材料の間伐材供給(230本) 3、椎茸の植付(80本)

その他 1、間伐や植林による炭酸ガス減少や地球温暖化防止効果の計量的把握は次年度の課題

2、保水力向上のメカニズム解明と具体的方法についても今後の課題

4)新聞報道、行事の状況など

1、里山保全活動新聞報道…7月7日京都新聞…別添

2、里山木工教室新聞報道…8月1日京都新聞…別添

3、西山樹木観察会新聞報道…2月7日京都新聞…別添

4、子供夏休み工作教室(8/19)…写真添付

5、森林ボランティアの日行事(9/21)…写真添付

6、クリスマスリースづくり(11/21)…写真添付

7、長岡第3小学校友好祭(2/19)…写真添付 8、西山樹木観察会(2/27)…写真添付

以上

長岡京市環境の都づくり会議・市民参加の里山再生プロジェクト・平成17年度事業報告

18, 4, 11 作成

環境の都づくり会議・里山再生プロジェクトは長岡京市里山再生市民フォーラムに参加、他の団体(緑の会・西山、乙訓の自然を守る会、西山森林整備推進協議会、(財)長岡京市緑の協会など)および一般市民と共に、西山の里山再生活動を行っている。

事業の概要

- 1)活動の目的・里山を手入することにより、生き物(植物、動物)の多様性を取り戻す。  
 ・里山の自然環境を生かした、燃料や食べ物のある程度の自給による廃棄物や炭酸ガスの減少。  
 ・安全でおいしい水や農産物の生産の基礎になる水、土、空気を生き生きさせる。

2)活動の目標・「四季を感じられる山」に整備する。

3)活動の内容

活動名	実施日数	活動参加人員(名)	活動地	活動内容	備考
間伐作業	21	356	池の尾地区	間伐、徐伐、下草刈、堆積落葉の除去	昨年度より6回増
植樹・植栽活動	20	52	同上、長岡公園 勝竜寺公園	松および希少植物	
植生、鳥類調査	19	24	池の尾地区	種類、本数などの調査、残す木の選定など	草木、鳥類調査結果発表 表 里山マップ作成着手
林道・散策道調査	2	7	池の尾 西山		西山協議会に協力
まつたけ栽培	2	24	池の尾地区	吉村先生指導、NHK放映	
竹炭焼成	12	43	粟生竹藪	竹炭、煤竹焼成 竹搾液	
里山工作教室	5	151	グリーンハウス	里山の素材を使った工作	青少年 22名
クリスマスリースづくり	3	36	サポートセンター	里山素材を使ったクリスマスリースづくり	
フェスタ参加	3	750	ガラシャ祭りなど	活動内容展示、木工教室、物産販売	青少年 多数
講演会・勉強会	7	86	サポートセンター他	講演会開催1回	
講師派遣	2	7	キャンパスプラザ	京都府立大公開シンポ	
打合せなど	6	74	グリーンハウス他	打合せ、会議など	
合計	102	1610			

4)活動の成果

間伐、徐伐活動 1、対象地(池の尾地区)の20%に当たる区域(5,200㎡)の間伐と下草刈りを実施した結果、地面に光が射しこむようになった。

2、間伐は保存する樹種を選別、表示して残した。

3、西山森林整備推進協議会の森林ボランティア活動日(11月26日)に参加、協力した。

4、間伐作業は6月より月2回(毎月第一、第三日曜日)に増やした(従来は月1回)。

植樹活動

1、松15本を植樹した(池の尾地区)。

2、希少植物山あじさい100本を植樹した(長岡公園)。

3、希少植物(山あじさい、ききょう、しまかんぎく、笹百合など)190本を植樹した(勝竜寺公園)。

調査活動

1、数年間の草木、鳥類の調査結果を発表(5月14日・講演会)。

2、散策道の調査を行った。

3、対象地域の植生、鳥類の案内板を作成した。

4、里山マップ作成に着手。



- 間伐材利用 1、吉村先生の指導をうけまつたけ栽培に着手した。  
堆積落葉の除去を実施中。
- 2、大人、子供工作教室、クリスマスリースづくりの継続実施。
- 3、昨年植え付けの椎茸より5kg収穫した。
- 4、トーテムポール作成中。
- 5、ひのきの入浴剤、300個をフェスタで無料配布。
- フェスタ・講演会 1、ガラシャ祭り、まちづくりフェスタ、まちびらきフェスタに参加した。
- 2、里山保全をテーマに野間先生の講演会を実施した。
- 3、チェーンソー講習会、5名受講。
- 西山協議会に参画 1、協議会委員、ワーキングチーム員として5名参画。
- 2、森林ボランティア行事、ガラシャ祭、林道調査に参加。
- 講師派遣 1、京都府立大学公開シンポに報告者、パネラーとして参加。
- 2、府民だよりに活動紹介を掲載。

5) 新聞報道、行事の状況など(添付資料省略)

- 1、植樹活動新聞報道…4月14日京都新聞…別添
- 2、まつたけ栽培着手…4月29日NHK放映…写真添付
- 3、講演会新聞報道…5月15日京都新聞…別添
- 4、西山森林整備推進協議会新聞報道…5月28日京都新聞…別添
- 5、子供里山工作教室新聞報道…8月19日京都新聞…別添
- 6、西山森林整備推進協議会森林ボランティア新聞報道…11月27日京都新聞…別添
- 7、まちづくりフェスタ参加新聞報道…2月26日京都新聞…別添
- 8、京都府府民だより…別添
- 9、森づくり公開シンポ新聞報道…3月26日京都新聞…別添

以上

## ビオトーププロジェクト

リーダー 小根田勝信

### 一期一会

私の環境都づくり会議の出会い「第5回 小泉川再発見の集い」のチラシを見て参加したのが最初の出会いでした、ちょうどその頃は定年退職した時期でもあり何か社会に恩返しが出来ないものかと色々考えていた時でもあり自分のニーズに合った企画でもあったので飛びついたと思っています。

この企画は「まち再発見プロジェクト」のリーダーだった市木哲夫によるもので、面白い事をしているんだと感心しました、入会してはと誘われてすんなり入った幸いです、

私ももともと自然が大好きで特に魚類については人一倍興味があったことも一つです、

小泉川の過去と現在の魚類調査報告を井上巖さんから説明をうけ感銘したことを覚えています環境の都づくり会議がどういった団体なのかよ

り江川さん、市木さん、井上さんにお会い出来たことやこの人達と一緒に何か出来る事のほうが楽しいのではと自分なりに決断したことを覚えていますこれが私がメンバーとして皆さんと一緒に活動することになった幸いです、

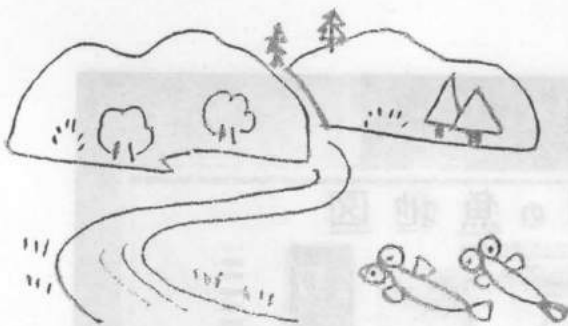
まち再発見プロジェクト、や後で出てくるビオトーププロジェクト（湯川リーダー）の活動は長岡京市の環境基本計画に基づいている事も後で知りましたこの時点では地球の温暖化という言葉も無かった状態で、自然環境破壊や水





の問題が活動となっていたように思われます。

小泉川との最初の出会いは平成14年7月27日の「小泉川再発見の集い」です、約15名の参加者でした、小泉川は西山を水源として桂川にそそぐ全長7kmの小川です、水は透明度も高く川には魚が多く見られました、でも魚の大半が川ムツとオイカワばかりで他の種類が何故少ないか、居ないのか疑問になりました、直ぐに分かりました、桜橋から下流には1m以上の高さの砂防ダムが10箇所もあり桂川との合流点には5m以上のダムが2個もありこれでは魚が遡上することも出来ません、井上さんの説明では魚達はそれぞれのダムの間で生育しているとのこと一旦大雨になれば魚達は流されてしまい二度と元の場所には戻ってこられないとのことでした、



又小泉川の側に京都第二外環状道路（にそと）が作られることが決まっております、現風景が大きく変わってしまうことも分かり、今の内に小泉川の現状を調査しそれを「小泉川魚地図」として残しておきたいという思いで作りあげました。調査した結果は、あまりにも魚種が少ないのに驚きました 発見出来た

のはオイカワ、川ムツ、フナ、ドンコ、ブラックバス（人が放流したもの）のみで過去にいたメダカ、ドジョウ、タナゴ、等は発見することが出来ませんでした、

魚地図は平成14年9月19日から21日まで長岡京市産業文化会館で展示会を行い多くの市民の方に鑑賞していただきました。



京都新聞洛西版にも掲載されました、その後 この魚地図は第五小学校や長岡中学等で出前授業に活躍したり、イズミヤで展示等に使われました、平成15年5月21日に第五小学校に寄贈され現在も職員室前の廊下に掲示されています、

### 出前教室の元年

小泉川魚地図パネル展から出前教室が頻繁に行われる事になりました、平成14年9月28日、10月28日、第5小生涯学習委員会主催のビオトープ勉強会に参加、10月17日第4小5年生を小泉川の魚調査、サワガニ取りに案内。10月18日第4中1年生（24名）の総合学習「環境との共生」に市水道局

と一緒に参加しました。

10月21日第4小5年生(57名)に小泉川の魚パネルやまち再発見プロジェクト活動のお話をしました、

10月31日第4小5年生に、サワガニのハクセイ作りの指導をしました、

## ビオトープ実施計画策定

平成14年9月1日に策定されました

(背景)

長岡京市に源流を持ち市内を流れる小泉川は市民の川として源氏ボタルを育てたり、川の保全や浄化を目指し各種の施策が進んでいますが、魚その他の自然の生き物が住みやすい環境にはもう一步の状況といえます、さらに児童生徒の総合教育の場、市民のふれあいの場としては不十分です。

(達成目標)

- \* 小泉川と市民の共生をはかる。
- \* 水質浄化をさらに進める。
- \* 魚をはじめ各種の生き物が住みよい環境を作る。
- \* 全域をビオトープにし、子供が遊べるゾーンを作る。
- \* 小泉川情報センターづくり。

(事業の概要)

- 1、水質保全の活動
- 2、魚の遡上みちづくり
- 3、ビオトープづくり
- 4、小泉川情報センターづくり

(活動計画)

- 14年度 A、マスタープランづくり  
(現地調査を含む)

15年度 B、魚の遡上道づくりとビオトープ整備(2年計画)

16年度 B、C、小泉川情報センターづくり、

D、体験教室の開設

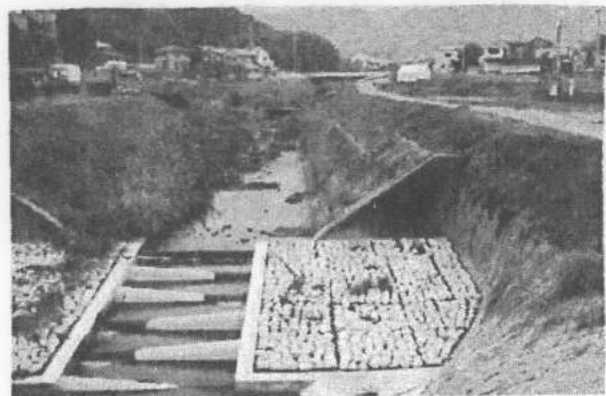
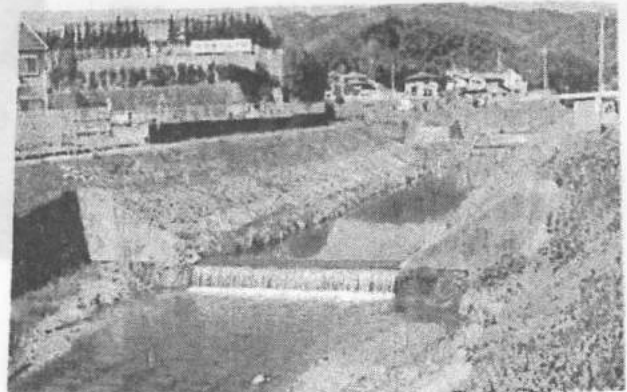
行政 A、B、C

関係団体 A、B、C、D

関係企業 A、C、D

市民 A、B、C

ビオトープの実施計画がこの時点で策定されましたが、このうち一部のものを残し実施されて来ましたが、実施計画にもとづいて、実施活動方針を平成14年11月12日に井上さんが策定してくれました、現在もこの方針にもとずき取り組んでいます。



## ビオトーププロジェクト

### 実施活動方針

- 井上 巖
- 1、当面 12名のメンバーを目標に活動
  - 2、小、中学校とコンタクトをとり、自然を大切に作る心を、私達と一緒に分かち合えること、野外教室への参加、及びビオトープづくりにも支援する、
  - 3、小泉川、小畑川、を中心に環境と自然の生態系を呼び戻しゆつくりと楽しみながら散策出来るビオトープポイントを作る、  
小泉川はダムを魚道に改修し桂川の合流点にある3段ダムを撤去し魚が遡上出来る環境を作る  
小畑川は岸に葦を植えワンド型ビオトープを作る、  
両河川とも水質検査を定期的に行う、
  - 4、自然体系をそのまま残す場所を本来のビオトープ指定地として保全、
  - 5、市内中心の公園、や池の範囲を決めビオトープとして指定、管理する、
- 上記実現のため、市民、行政、企業、が一体となって取り組みに努める、  
11月19日には、井上、藤原、市木、小根田、4名が乙訓土木事務所、河川砂防課長 橋本氏、細見技師に面会し私達の思いを聞いていただきま

ました、橋本課長とはこのことがきっかけとなり今後色々とお世話になりました、  
小泉川の砂防ダムの大半を魚道に改修していただき平成18年度にはアユが1、2匹遡上してくれました、  
小畑川には平成16年5月にワンド型ビオトープが完成し滝の町の市民が中心としたビオトープ会が設立されました  
(京都新聞洛西版に5月18日に掲載)



「小畑川懇談会」も滝の町市民が中心になって小畑川の夢を語り合っています、  
毎年第10小の5、6年生(約100名)と滝の町自治会員とでビオトープ周囲の清掃をしていただいております  
周りにはかんなの花が自然繁殖し自然公園のようになってきました、



## 小泉川ビオトープ作り

平成16年10月16日、井上さんの指導のもとに第5小の生徒及び父兄参加で手作りのビオトープ作りを始めました、市や学校農協の方の協力で資材を提供していただきました。



平成17年3月にやっと完成しました3月の完成まで毎月土曜日、隔週2回作業にあてました、生徒は毎回10～15人ほど参加し一緒にいい汗をかき楽しい時間を過ごした事と思います、子供達も慣れない手つきでスコップを使いカエルや、ミミズ、カメが出てくると大騒ぎでした、やはり一番大変だったのは穴掘ではなかったかと思ひます、ビオトープ作りで自然や環境の大切さを学んでくれたこととおもひます。





小泉川ビオトープも平成18年4月をもってにそとの工事のため閉鎖することになりました、楽しい思い出がいっぱい詰まったビオトープでしたが又再開出来ることを期待したいと思います、  
 ビオトープに使ったシートは大切保管しています、  
 めだか達は市民の皆さんに飼育してもらっています、

### 竹炭焼きの開始

平成15年10月10日より井内にあるみどりの協会の資材置き場をお借りして市の移動窯で竹炭焼きを始めました当日のメンバーは藤原さん、山内さん、奥西さん、神山さん、草場さん、湯川さん、小根田による7名でした、移動窯で竹炭焼きの技術を習得したのでドラム缶で独自の窯を作ろうと藤原さんから引継ぎ奥西さんに製作してもらい現在も活躍しています、



次回には完璧な炭を目指す熱血炭焼き4人衆

## 小泉川源流の鳥瞰図作成

平成15年10月西山の竹藪の状況をしっかりと見て鳥瞰図を作成しそこに放置されていると思われる竹藪をプロットしました、竹は毎年すごい勢いで拡大して行くといわれているとおりに雑木林にまで入りこんで行くのがよくわかりました、これからも調査と拡大を防ぐ工夫が課題となっています、

## 親子体験学習の集い

### 竹の子が出来るまで

平成14年12月14日湯川新一さんの竹畑で土いれを体験しました、一輪車で作業は結構力がある作業でした、いい経験をさせていただきました、



### 竹林再生部会発足

平成17年10月ビオトーププロジェクトのメンバーである渡辺節郎さんをリーダーとして発足しました、ボランティアも13名となり毎月隔週の月曜日を作業日にあてて活動をはじめています、今後団塊の世代が定年を迎えて入会してくることも予測されるため、その為の環境の整備が急務となります、放置竹藪の借用には、いまだに地区や地主の抵抗が根強い、しかし私達の活動は地主の理解と協力がなければ活動の継続は不可能です、

## 環境紙芝居の作成

平成15年4月地球温暖化を子供達に分かりやすくするために紙芝居に仕上げました、さっそく長岡中1年生(150名)を対象に出前教室を行いました



この課題解決にはやはり行政の指導が不可欠です、今後もさらに行政と関わりを増やし協働体制で推進していきたいと思ひます、このまま放置竹藪を無管理にしておけば、西山は樹木の育たない山になってしまいます、竹は毎年5メートルの勢いで拡大して行くといわれています、早ければ早いほど自然環境にいい山になって行くと思ひます、





## 小泉川ビオトープ作りの思い出

着工～完成～終了まで

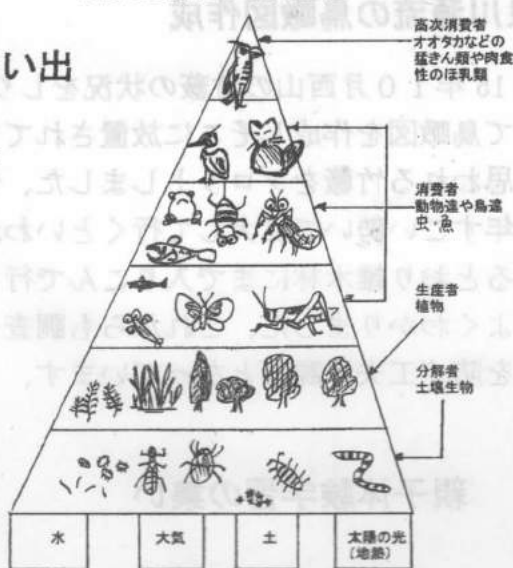
井上 巖

小泉川のビオトープ作りは ひょんなきっかけで始まりました、平成16年、市会議員の尾崎百合子さんより、第5小学校で「ふれあい広場実行委員会」が実施されるので推薦したいとの電話があり承諾しました、早速子供居場所づくりの会長中小路さんにお会いし土曜日に子供達が元気で学べるふれあい広場に是非参加して欲しいとの話で、喜んで承諾しました、特に私達プロジェクトには池が無かったのでメンバー皆も喜んで協力してくれました、

### 泥んこ遊びの始まり・・・着工

井上さんが以前から市広域道路課から下海印寺の花園を借りておられたのでその一角を借用して平成16年10月よりメンバー（井上、江川、奥西、小根田、神山、草場）、を中心に担当の先生（父兄、生徒約20名）、一般市民の飛び入り参加で着工に取り掛かりました、約1ヶ月後、6m×4m四方の水辺観察道が完成、道の周りは竹の杭が打たれ手づくりの池らしきものが出来ました、観察日、作業日を各月の第1、第3土曜日としました、池には早速トンボが飛ん来て卵を産んでいました。

修復で生態系ピラミッドを復元

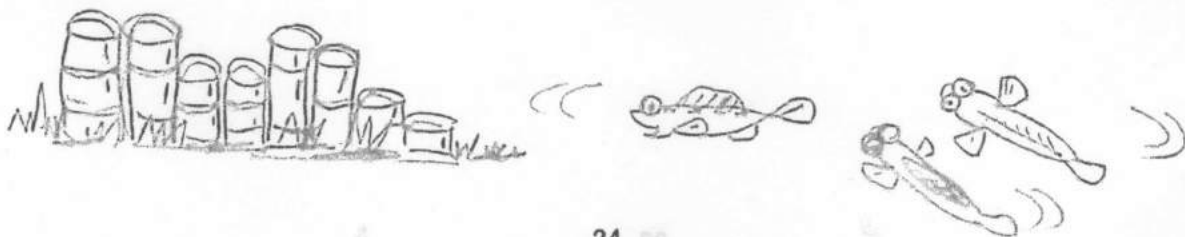


### ビオトープの役割

「ビオトープ」とはギリシャ語で生き物の成育場所という合成語です、川だけでは生態系の維はむずかしく、池や雑草の茂る場所を人の手で作ってやり自然環境が修復されることにより生態系のピラミットが復元出来るのです。

### 完成そうして終了

平成17年3月にビオトープが完成しました、メダカやドンコフナなどを子供達と放流したり私達も子供に帰って遊びましたにそとの工事のため平成18年3月に使用中止になりました、子供達と ささやかなお菓子と、茶でお別れ会をしました、メダカは子供達が持ち帰り、他の魚は川に再放流しました。



## エコチーム

村上 薫

私が環都会議に参加したのは平成 15 年 1 月 25 日に「省エネ共和国を作りました」という題名で、第 5 回環境教育ミーティングで発表からです。

ここで、年月とエコチームの主な活動項目を挙げます。

- 15(2003)/1/25 省エネ共和国建国の話
- 5/8 京都グリーンファンド訪問
- 5/ 公募 5kW チラシ作成と  
市内各地に 1500 枚配布
- 6/4 ゆりかご保育園応募
- 6/9 NEDO 説明会同日受付開始  
業者選定見積書、申請書提出
- 7/4 NEDO 締め切り
- 9/17 上期として NEDO 不採択
- 10/14~11/14 NEDO 下期募集、再提出
- 10/26 市民環境フォーラム、村木課長講演



- 12/26 NEDO 採択 寄付集め開始
- 16(2004)/2/24 京都府新エネルギー補助条例公布
- 3/25 ゆりかご保育園点灯式
- 8/24 地球の学校①ゆりかご保育園で  
フォトランゲージなど
- 10/16 第九小 親子温暖化教室  
1~2 年主体 45 人, 大人 25 人
- 11/20 地球の学校②クイズなど
- 12/11,12 京都環境フェスティバル出展

- 17(2005)/4/1 地域協議会, 環境省に登録
- 5/7 第 8 回市民環境フォーラム  
小畑川ビオトープなど五小
- 6/18 バンビオ 1 番館エコマートでお  
買物、竹炭掴み取り、他
- 8/21 バンビオ 1 番館、自転車発電で  
新幹線走らす、ビバ鉢など、



- 11/17 第 10 回市民環境フォーラム  
府立大松原斉樹教授講演, 市内  
事業所の省エネ発表など
- 12/10・11 京都環境フェスティバル出展
- 18(2006)/11/18 市民環境フォーラム使用  
済てんぷら油回収から BDF へ
- 12/9,10 京都環境フェスティバル出展

上記、主な項目を年月順に挙げました。その中で一番印象に残ったのは矢張りなんと言っても、私個人だけでなく、エコチームだけでなく、市役所職員をも含め、多くの人たちがおひさま発電所を「ゆりかご保育園」に寄付集めをして設置できたことです。

ご寄付して頂いた人が 250 人を越えました。京都府からも、NEDO (独立行政法人新エネルギー・産業技術) の採択後、今回の寄付集めなど波及効果が大きく、また新エネルギーであることから、新規に条例を作り、100 万円を補助して



くれました。

環境、省エネ活動の中で、寄付集めするなど考えてみたこともありませんでした。京都グリーンファンドの大西さんから細かなご支援があったからこそです。さらにその後ろ立てに京都府からの大きな支援が、最初からあったのでした。

何しろ、NEDOの採択後、府のほうで近隣市町村で100人の寄付者数100%の補助金、つまり70人だったら70%の70万円とのこと、地域住民主体ということも後からわかりました。良く考えればそうですね。地域、長岡京市では143名を越えました。寄付者総数は250名を越えました。

今思い出しても、1口1000円の寄付のお願いは、気合が入りました。毎日、この人かと思う人に声を掛けお願いして、郵便振替用紙を渡しました。ゆりかご保育園は知らないけれど、私が環境ボランティアで、いいことをまた大事なこと、地球温暖化とかなにやらやっていると振り込んで寄附していただいた方には頭が下がりました。NEDO(国)が半額出してくれます。CO<sub>2</sub>を出さない自然エネルギーで電気を作る太陽光発電装置は高価なので皆さんのご寄付で設置しようとしています。

ご協力ください。一呼吸入れて、何を言うか考えて言いました。だんだんなれてきてすらすらと言えるようになりました。

よく身のまわりを見ると、毎年、赤い羽根の共同募金、社会福祉協議会が自治会を通じて募金を集めに来ていますね。

16年3月25日(木)午前11時からの点灯式には関係者延べ約80人がゆりかご保育園に集ってくれて、保育士さんの劇、茶話会などでお祝いして感激しました。

16年8月24日は京都府地球温暖化防止活動推進センターの木原さんが講師で「地球の学校①回目」が開かれた。地球温暖化とはどういうことか、ワークショップ形式の学習会は、新任の若い保育士さんをも含めて、フォトランゲージ(写真を見て何を意味しているのかを話し合いグループ別に発表する)形式は大変たのしいものでした。かたい地球温暖化の話がこんなに楽しくできるのか驚嘆しました。

16年10月16日長岡京市立第九小体育館での親子温暖化教室で集ったのは、



学童保育の中で1~2年生主体の45人、大人25人。木原講師。家の中で使っている電気製品は何かを黒板に書き上げていき、電気を作る火力発電所では、石油・石炭・天然ガスを燃やす。そのときに二酸化炭素が大量に出る。この二酸化炭素が地球の周りを取り巻き、太陽の熱が逃げなくなり地球が暖かくなりつまり温暖化してくる。そして、人間も動物も住めない植物も育たない地球になってくる。電気を使うことを減らすことが、二酸化炭素を減らすことになる。TVを見る時間を減らそう。TVゲームをする時間を減らそうというワークショップを地球の絵を描いたりして説明した。私の班では子供たちは何とか発表してくれた。理解してくれたかなと思ったが、後から、お母さんがたからよかったと聞いてほっと



しました。

16年11月20日地球の学校②はクイズ方式でゆりかご保育園で木原講師が実施。園庭では保育士さんに連れられて園児が見にやってきました。自転車をこいで新幹線Nゲージを走らせると歓声を上げてくれました。後から写真を見ると良くわかりました。



H17年(2005)1月11日京都府の職員さんからのおすすめで環境省に「地球温暖化対策地域協議会」を申請、4月1日には登録された。長岡京市環境の都づくり会議として環境省のHPで見えます。

地球温暖化対策地域協議会は、この民生部門における温室効果ガスの排出量を削減するため、地球温暖化対策の推進に関する法律第26条第1項の規定に基づき、地方公共団体、都道府県地球温暖化防止活動推進センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民等の各界各層が構成員となり、連携して、日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等に関し必要となるべき措置について協議し、具体的に対策を実践することを目的として組織するものです。

環境省HPより引用しました。

17(2005)年5月7日第8回市民環境フォーラムが第五小にて小畑川沿いのピオトープ見学など含めて実施した。

17年11月27日第9回市民環境フォーラムを長岡京市立中央公民館で実施。

「温暖化の暮らし方と住まい～厚さ寒さとうつきあうか」をテーマに京都府立大学人間環境学部教授の松原斉樹(なおき)先生の講演、ムラタ製作所、三菱電機、ダイハツ、サントリー様の企業内省エネ取り組み状況を発表していただいた。

18/11/17 第10回市民環境フォーラム  
BDF 廃食油活用

京都環境フェスティバル3年連続出展。

16年12月自転車こぎ新幹線模型走行他

17年12月ミニソーラーカー組立大人気  
環都会議のクイズラリー

18年12月ミニソーラーカー組立大人気  
ゴミクイズのアンケート

今後とも多方面でできるところから温暖化防止を進めてまいります。

以上



## 廃食用油回収とその有効活用への取り組み

### はじめに

一般家庭で天ぷら等に使用された後の油（廃食用油）が下水に流された時、また固形化されて焼却ごみとして廃棄されてもその処理には大量のエネルギーが消費される。そのためこれら廃食用油を回収し再利用することが最近行われるようになった。

廃食用油の有効活用には従来から取組まれてきた石鹼への再製以外に「バイオディーゼル燃料（BDF）（注）」として活用することの期待が大きい。

長岡京市でもこれまで検討されてきたがまだ具体化の計画がない。（コミュニティバスには採用されていない。）京都市内では、一部のバスやゴミ回収車にBDFが使用されているが、長岡京市内でも「バイオディーゼル車」を走らせて、廃食用油の活用を弾みをつけたいと考えている。

既に廃食用油の回収活動は自治会等で進められているので、環境の都づくり会議としてのこの事業への本格的取組みは19年度以降となるが、18年度は、フォーラムの開催や、関連するテーマの調査、試行を行った。

なおこの事業は京都府地球温暖化防止活動推進センターの提案型協働地球温暖化防止事業としての支援を受けて行った。

（注）バイオディーゼル燃料とは

主に菜種油等の植物油を原料として製造されたディーゼル燃料で、化石燃料である軽油の代替としてディーゼルエンジンに使用できる。排気ガス中の大気汚染物質を低減でき、大気中の二酸化炭素の低減に効果があり、地球温暖化防止につながる。

### 1. 長岡京市における廃食用油の回収状況

長岡京市では既に自治会等で廃食用油の回収が行われている。

回収方法はそれぞれ工夫がされており、最も一般的には「使用済み天ぷら油回収」の旗を立て、保管用のポリタンクを設置して、常時または日を決めて回収されている。車に保管用ポリタンクを乗せて自治会内を循環したり、個別に家庭を訪問する人もある。また、市の分別回収ステーションで個人的に回収している自治会もある。

18年10月現在24の拠点で月約320Lの廃食用油が回収されている。



乙訓地域を走っている、BDFを使用した京都生協の配送車。

### 2 環境フォーラムの開催

廃食用油はバイオディーゼル燃料（BDF）をはじめ、石鹼や塗料、飼料など多様な用途があることを紹介し、そのような用途や廃食用油の回収活動の現状について市民にお知らせすることで、「資源になるものを捨てるのはもったいない」との認識を広め、廃棄物の発生抑制や、資源の有効活用の推進につながることを目的に本フォーラムを開催した。



- ・テーマ「天ぷら油で車を走らそう」
- ・日時 2006年11月18日(土)  
13時00分～15時30分
- ・場所 長岡京市中央公民館 市民ホール
- ・ステージプログラム
  - ・ゆりかご保育園園児の歌
  - ・廃食用油回収推進事例の報告  
(西の京自治会・滝ノ町自治会・  
谷田自治会・高橋肇氏)
  - ・環境手品(中村孝之氏)
  - ・講演「バイオディーゼル燃料の活用状  
況について」  
(株)レポインターナショナル  
上森英孝氏)
- ・展示コーナー
  - ・BDFで動くレーシングカー
  - ・BDF製造関連パネル
  - ・廃食用油関連パネル
  - ・環境の都づくり会議活動紹介パネル
- ・環境グッズ抽選会

・環境フォーラム開催の成果  
約70名の参加者があり、回収されたアンケートでは「楽しかった」「役にたった」等の感想が多かった。また廃食用油の回収をしていない大部分の人が「今後やってみたい」と答えており、廃食用油回収の推進に役立ったイベントになった。



「BDF製造関連パネル」の展示風景

### 3 廃食用油プロジェクト会議の開催

8名の常任メンバーを中心に、月1回開催し、BDFに関連する調査、問題点の抽出、長岡京市にBDF車を走らせるための方策等について討議した。

討議内容の一部

- ・第3回会議「長岡京市でのゴミ回収と廃食用油回収」長岡美装社
- ・第5回会議「BDFの勉強会と作成実験」
- ・第6回会議「BDF生産設備(京都市廃食用油燃料化施設)の見学」
- ・第8回会議「公用車でのBDF使用について」

### 4. 今後の進め方

長岡京市全体の廃食用油有効利用の進め方として、①全市一体となった活動(例えば連絡会の開催等) ②廃食用油回収拠点の増大 ③集めた廃食用油からのBDFの製造や供給体制の検討 ④BDF使用車の市内運行 等が考えられる。

環境の都づくり会議としてこれらの課題にどのように関わっていくかは19年度以降の活動計画として検討する必要があるが、①の事務局的作用をすることから始めるのが適当と考える。

以上

### 参考資料

- ・バイオディーゼルハンドブック  
池上詢(株)日報アイ・ビー(2006)

(文責 エコチーム 田原誠一郎)



# おひさま発電所が できたよ

ゆりかご保育園

園長 高橋 由紀子

この保育園にしかない特色をつくりたい！  
そんな探し物をずっと心に抱きながら、創  
立 30 年の記念式典会場の中央公民館に足  
を運んだある日。見つけた一枚の運命のチ  
ラシ！

このチラシのお陰で、どれだけたくさん  
の方々との出会いが生まれ、思いがつながり、  
希望を育んだことでしょう！思い返すとき、  
設置に携わっていただいた方々のエネルギ  
ーが保育園全体を暖かな光で包み込んでく  
れます。

行政と市民団体・園とがパートナーシ  
ップを組み設置されたおひさま発電所「サン  
さん1号」。

地域にそして子どもたちに向けて情報発信  
の拠点として機能を強化していきたいと思  
います。



ゆりかご保育園園舎全景

## サンさん1号プロフィール

- ◇ 設備仕様 5kw
- ◇ 設置総工費 約600万円
- ◇ 寄付の状況 64万円



パネル裏面に署名



点 灯 の 瞬 間



電光掲示板

＜これからのサンさん1号

ゆりかご 保育園＞

ゆりかご保育園は、今回の取り組みにより  
新たな役割と特色を皆さんから頂きました。

地球温暖化防止活動に取り組む保育園として

◇ 子どもたちと保護者の方とで自然エネ  
ルギーの大切さを感じあい、感謝の気持  
ちが生まれる保育園として。

◇ 地域の方と共に考え、共に行動し  
一緒にできることから、活動を継続してい  
くことの大切さを伝えていきます。

<稼働状況>

サンさん1号の月別発電量 (単位=kwh)		ゆりかご保育園	
	2004年度	2005年度	2006年度
4月	487	597	523
5月	458	783	540
6月	626	655	590
7月	731	480	448
8月	604	602	511
9月	541	548	570
10月	454	378	541
11月	391	539	529
12月	376	412	503
1月	412	350	531
2月	444	402	—
3月	409	423	—

# 環境教育 プロジェクト

持続可能な社会を  
話し合いの中で  
互いに学習するため  
環境教育ミーティング  
を隔月に開催する

プロジェクト・リーダー  
西村日出男

長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト 主催

## 第2回 環境教育ミーティング

<主催>長岡京市環境の部づくり会議  
<後援>長岡京市教育委員会

参加は無料

日程 平成14年 7月27日(土)  
時間 夜7時~9時 (6:30~6:55 ビデオ上映)  
会場 長岡京市民活動サポートセンター (別館2F)  
長岡京市 長岡京区 2-5-5 電話 075-952-1314

内容

第1回・環境教育ミーティングの報告 (映画体験)

① CO<sub>2</sub>から見えてくる地球の未来  
平岡信之さん

小学校6年生の総合的な学習の時間における環境教育としての「資源・エネルギー教育」に取り組みました。社会見学、出前授業、体験学習などにとりくみ中で、地球の未来をCO<sub>2</sub>を通して考えてみました。学んだことを個人でまとめ、グループで交流し、新しい形にまとめ、それを発表しあうことで、さらに学びの場を持つようとしてきました。

石川順出身。  
立命館大学文学部地理学科卒業  
現在 長岡第三小学校教諭

② 21世紀型ビオトープ「エコアップガーデン」のひみつ  
奥谷三穂さん

京都市では平成13年度より、都市浄化センター内にビオトープのモデルとなる「エコアップガーデン」を整備。なぜ今「ビオトープ」なのか、環境問題に気づききっかけとしてのビオトープづくりについてお話しします。

長岡京市在住  
京都市環境企画課  
緑の環境推進係 企画主任

ビデオ「静かなる革命」は地球環境問題を映像化したもので、2002年5月、スロバキア映画祭で受賞し、国産でも鑑賞されました。

問い合わせ 西村日出男  
(Tel./Fax:075-952-3718)

長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト

## 第1回 環境教育ミーティング

話題提供者 ① 西規文さん

【プロフィール】  
③昨年度まで7年間、京都府八幡市立八幡東小学校に勤務。  
③今年度より八幡市立美濃山小学校に転勤3年生担任。

【話題の要約】  
◆今年度から小学校では総合的な学習の時間(総合学習)が完全実施されます。  
◆総合的な学習の時間では、各学校が地域や学校、児童の実態に応じて、教科等の枠を越えた横断的総合的な学習や児童の興味・関心に基づく学習など創意工夫を主とした教育活動を行なうこととされています。  
◆他の小学校同様八幡東小学校においても、数年前から学校独自の内容を考え、特に自然・環境をテーマに取り組んできました。  
◆昨年度は、児童にとって身近なことから環境に目を向けるという視点に立って、飼育の廃棄物を畑を使って土に還元、その土を使って野菜を育てるというような取り組みを全校で実施しました。  
◆まだまだ不十分な実践ですが、今回は、その実践内容を発表したいと思います。

話題提供者 ② 鞆野高資さん

【プロフィール】  
①長岡京市環境の部づくり会議代表  
③平成13・14年度長岡京市情報公開・個人情報保護推進審議会委員  
③平成14年度環境モニター59才(会社員)

【話題の要約】  
◆長岡京市民環境会議より環境の部づくり会議にいたる4年目の思い出。  
◆長岡京市の自然と歴史・文化を守り、にぎわいのある町づくりは人および人のネットワークで、楽しく・気楽に進めていきたいと思います。  
◆長岡京市はすばらしい人材の宝庫です。  
◆環境教育は小中高生、主婦、中高年への情報の発信と体験の場の提供を目指したいものです。参考となる事例を紹介します。

(趣味)  
作詩と釣魚、山歩き、旅行

長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト 主催

## 第3回 環境教育ミーティング

<主催>長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト  
<後援>長岡京市教育委員会

参加は無料

日程 平成14年 9月28日(土)  
時間 夜7時~9時  
会場 長岡京市立中央公民館・講堂室(2階)  
内容

① 第2回・環境教育ミーティングの報告 (表面に感想)

② 「学校における環境教育」  
吉岡学さん

【お話し内容】長岡第六小学校で取り組んできた「総合的な学習の時間」と「生活科」における環境教育の取り組みを紹介したいと思います。生き物探して野菜の栽培、また自分で大豆を種から育てる活動や秋の収穫祭にエネルギー教育。また、4年ほどかけて作ってきた長六小の「学校ビオトープ」も紹介したいと思います。子ども達はもちろん、保護者も参加してくださった「ビオトープ作り」。少しづつ、生き物がすみやすい環境ができてきました。まずは、ビオトープの調査、いろいろな水やりや水がたまりやすい場所、また水や土のやりかたも教え、生き物探しの子どもたちも頑張っています。

③ 「農業を通して考える地域環境」  
宗接元信さん

【お話し内容】農業より水と食糧と自然との折り合い、そして近年、大きく変化し、月々高値を付けている日本農業の現状に注目し、その因果と地域環境との結びつきを検証してみる。

④ 質疑・意見交換・交流

コーディネーター 西村日出男 (Tel./Fax:075-952-3718)



<主催> 長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト  
長岡京市立中央公民館  
<後援> 長岡京市教育委員会

## 第4回 環境教育ミ-ティング

参加は無料  
日 時 平成14年 11月30日(土) 夜7時~9時  
会 場 長岡京市立中央公民館・視聴覚室(2階)



内容  
① 第3回・環境教育ミ-ティングの報告 (裏面に参加者の感想)

② 中学校における環境教育  
お話しの内容  
芦生光夫さん  
・長岡第三中学校教頭  
中学校における環境学習に関する内容と具体的な実践について話します。  
・環境教育を通して身に付けた力とは、環境教育を通して何が求められているか。  
・選択教科や課外学習での環境学習の取組。  
・「竹」をテーマにした取組

③ 一人立つ精神で、町の美化を継続  
お話しの内容  
山本美津子さん  
・愛あいKYOTO・白ゆりクラブ代表  
・市制施行30周年記念式典で表彰  
・奥海印寺に在任  
長岡京の青年会本部役員や奥海印寺の田の自治会で役員をしている時に、買ったまま放置されている公園が気になり、寂々とした、清掃をし、花を植えました。しかし、このような環境文化の活動を今後は広げていくのが課題です。

④ 質疑・意見交換・交流  
発言された方も、されなかった方も“MEET”に感想をお寄せ下さい。  
お話しの内容

<主催> 長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト / 長岡京市立中央公民館  
<後援> 長岡京市教育委員会

## 第5回 環境教育ミ-ティング

参加は無料  
日 時 平成15年 1月25日(土) 夜7時~9時  
会 場 長岡京市立中央公民館・視聴覚室(2階)

内容  
① 第4回・環境教育ミ-ティングの報告

② 小泉川の生き物に関わって  
お話しの内容  
梅田真さん  
・生まれは鳥取ですが、小学校時代から奥海印寺に住んでいます。  
・長岡京小、長岡中、乙訓高で学びました。  
・大学は農学部、専門は生化学ですが、環境学についても学びました。  
・酒造会社に勤め、30歳から小学校教員となり25年経ちます。  
・現在 長岡第四小学校校長  
【話の骨子】  
・40年前の小泉川が今に思っていること。  
・小泉川の田舎を調べ始めたきっかけ。  
・長岡京市ジュニア環境探検隊「水辺の環境ウォッチング」で子ども達に伝えたいこと。  
・小泉川の散歩と長岡第九小学校区の小畑川沿道から思うこと。  
・小学校の環境教育でやってほしいこと。

③ 省エネ共和国を建国しました  
お話しの内容  
村上夏さん  
・クロイ環境(株)を退職  
・中小企業診断士、電気工事士  
・現在 (株)京都産業21  
・長岡京市神足に在住  
【話の内容】  
クロイ環境株式会社省エネ共和国の経緯をお話します。  
私は京都産業21で京都市下の中小企業さんの省エネ相談員を6年ほどやっています。(京都環境建設のISO 14001の主任調査員も受けて、環境問題の重大さを知りました。地球温暖化防止に向けて、何が出来るか、個人でも出来ることからはじめよう。一人でもやるより何人かでやるほうが楽しそうです。増収減支を減らす家計向けの支援が(株)省エネ共和国から受けられるのを知って、省エネ共和国を建国しました。国産ナランの説明をしながらお話しします。

④ 質疑・意見交換・交流  
発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:952-3718

<主催> 長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト / 長岡京市立中央公民館  
<後援> 長岡京市教育委員会

## 第6回 環境教育ミ-ティング

参加は無料  
日 時 平成15年 3月29日(土) 夜7時~9時  
会 場 長岡京市立中央公民館・視聴覚室(2階)

内容  
① 第5回・環境教育ミ-ティングの報告  
② 蝶と砂防ダム (坂川の砂防工事のお話)  
【発表者 橋本知之さんのプロフィール】  
・乙訓土木事務所河川砂防課長です。  
・自然にやさしい公共事業を進めています。  
・自然が豊かな長岡京(京都市・葛城山)での経験が都心部でも生かすのにかたがたお話しします。  
・長岡第四小学校の総合学習「人間と自然との共生」で2度ゲストリーダーの機会を与えていただき、子供たちから多くのことを学びました。  
【話の内容】  
・光明寺の橋を渡る坂川の話です。  
・坂川の上流は、山崩れなどにより土石流が発生する危険のある箇所ですが、一方で、坂川沿いは昔ながらの生活が生き生きとした環境が残る風景がみられる地域でもあります。  
・環境保護と砂防ダム計画をめぐる3年間の取り組みをパワーポイントを使った映像で、お話ししようと思っています。

③ 京都醍醐地域におけるコミュニティ・バス  
【発表者 西本朝樹さんのプロフィール】  
京都生まれ、1999年MPO地域市民(2000年度)1回(17才)17才→20才(17才)の3年調査をきっかけに地域の環境保全活動に参加。京の75000人(京都市)設立より数回のイベントにて、のびのびと参加。公共交通のわが国において、毎年11月に開催されている京都府の中心市街地を歩いてもらうまちづくりに向けた社会実験に際し、河原町通にて21才(17才)の体験試乗会を開催して、御所路に徒歩20分(17才)を走り回った。企業向け環境保全活動の一環として企画された京都版(2000年度)の2000年度17才の乗車に7回参加、御所路の徒歩20分(17才)の乗車17才(17才)として毎週末、来場者のみなさまに向けて17才(17才)を行っています。  
【話の内容】  
京都山科区醍醐は地下鉄東西線の開業に伴い市バス路線の廃止が行われ、市民の足が不便になった。そこで住民によるバス導入の活動が行われ、この春にも運行される予定になっている。構想から路線決定までの事務局の活動と住民の関わりについて、この一年の活動経緯を報告。

④ 質疑・意見交換・交流  
発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:952-3718

<主催> 長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト / 長岡京市立中央公民館  
<後援> 長岡京市教育委員会

## 第7回 環境教育ミ-ティング

参加は無料  
日 時 平成15年 5月31日(土) 夜7時~9時  
会 場 長岡京市立中央公民館・視聴覚室(2階)

内容  
① 小さな隣人たち~小畑川の野鳥~  
【発表者 井本彰さん】  
自分の目よりも高いところにある、鳥、草、動物が大好きです。京都市という、大都会の真ん中で生まれ育ったせいで、小さいときから自然へのあこがれが強かったと書かれています。大学時代から鳥を見つけて、はや20年以上、カメラと双眼鏡をぶら下げてバイクで走り回る「TOびく先生」です。  
現在 長法寺小学校教諭  
井本彰動物体験館所長  
http://www.gocitex.co.jp/Intarstand/4756/  
【話の内容】  
「あれ、あの鳥、スズメじゃないよ」  
意外な発見から、バードウォッチングは始まりました。山田池を渡る川に生息する、たくさんの種類の鳥が現れる小畑川。冬の頃でしたら、30種類以上の鳥たちがみられます。毎年2月の長岡京市のバードウォッチングでみなさんをご案内させていただいてきた経験を活かして、小さな隣人たちとのつきあひ方を話してみようと思います。

② 紙芝居による環境の過去と未来  
【発表者 小根田勝信さん】  
・立命館大学経済学部卒業  
・(株)村田製作所 平成13年定年退職  
・現在 フューチャーアート研究会  
http://www.plala.or.jp/fish-art/  
長岡京市環境の部づくり会議  
ピクトーププロジェクト  
長岡京市在住  
【話の内容】  
今の子ども達に環境の未来や過去について話せることにより、分りやすく理解してもらいたい。紙芝居を作ってみました。何故今環境問題なのか、ピクトープ作りながら今私達が将来の子供達に何を残してやるのかを私達が考える機会になりました。紙芝居に何が出来たのかを報告したいと思います。長岡京市はまだまだ自然に恵まれた環境を残しており、ちょっと手を加えてやれば自然が戻ると話します。

③ 質疑・意見交換・交流  
発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:952-3718

主催：長岡市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡市立中央公民館  
後援：長岡市 / 長岡市教育委員会

## 第8回 環境教育ミ-ティング

日時 平成15年 7月26日(土) 夜7時~9時  
会場 長岡市立中央公民館・視聴覚室(2階)

参加は無料



### ① サンさんプロジェクト(太陽光発電所の設置)

**【話しの内容】**  
クリーンで無汚染なエネルギーである「太陽光の活用」は人眼にとって大変刺激的な大きいテーマですが、経済的制約などもあってまだまだ利用が限られています。「太陽光発電」について理解を深めてもらえるよう基礎的知識と我が国の実情などを紹介したいと思います。今回「サンさんプロジェクト」を立ち上げ、長岡市でも積極的にやさしい環境システムの普及をもっと進めたいと考えています。

**【発表者 江川宗浩さん】**  
「長岡市環境の都づくり会議」のメンバーで、エコチームのリーダーとして「サンさんプロジェクト」などに取り組んでいます。(財)京産産業21の経営企画部副部長

### ② 地球温暖化防止と自然エネルギー利用

**【話しの内容】**  
普段の生活ではなかなか意識されませんが、私たちのまわりには太陽光・太陽熱などの自然エネルギーがあふれています。これを有効に活用することが、非常に効果的な温暖化対策になります。今回は、地球温暖化問題の現状、自然エネルギー利用の具体的な方法、そしてそれを普及させるための環境教育の事例などについて、写真をたくさんお見せしながらご紹介します。

**【発表者 木原浩貴さん】**  
温暖化防止を目的に活動する環境NGO/NPO「気候ネットワーク」のスタッフです。学生の時にボランティアとして関わり始め、そのまますべての活動を続けています。いくつかの環境教育プロジェクトを担当しています。(財)省エネルギーセンターの省エネルギー普及推進員

### ③ 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718

主催：長岡市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡市立中央公民館  
後援：長岡市 / 長岡市教育委員会

## 第9回 環境教育ミ-ティング

日時 平成15年 9月27日(土) 夜7時~9時  
会場 長岡市立中央公民館・視聴覚室(2階)

参加は無料



### ① よりよき自然環境を願う私の意見

**【話しの内容】**  
誰もが今、自然破壊、復元という言葉をよく耳にします。特に私達世代の者は幼い頃、自然一帯の中で、魚とり、トンチを遊んだ記憶を懐かしむ人が多いと思います。今や、ほとんどの地域で目に見えて自然が破壊され、大きな社会問題になって来ています。私は、この現状で、何が問題か、又どうすれば、自然環境の復元か、少しでも回復できるか、私なりの考えを、お話ししたいと思います。

**【発表者 井上巖さん】**  
長岡市環境の都づくり会議メンバー(財)日本生態系協会エコ会員  
ビオトープ・ネットワーク協議会正会員

### ② 水の学習を通して

**【話しの内容】**  
身近な水を見つめ直してみよう、ということから小畑川と吾妻川の水質調査を行いました。小畑川は水質調査 吾妻川は水質調査という結果から、川の水はどうして汚れるのか、どのようにすれば水を汚さず、きれいにすることができるのか考えました。水を浄化する方法の一つに竹炭を活用することを発見し、竹炭の作り方や製法などをゲスト講師に招きながら学習しました。学習の基礎に、ドラム缶で作った簡易濾過器による竹炭作りを学校で行いました。昨年夏向陽小で子ども達が学習したことをごく簡単に報告したいと思います。

**【発表者 永田健一さん】**  
長岡市生まれの長岡市育ちです。小畑川には子どもの頃よく遊びに行きました。最近川で遊んだり、沼で釣りをすると子どもの姿をあまり見かけないのが残念です。教育について13年ほど、現在向陽市の小学校に勤務していますが、長岡市にも、長小、長西小と7年勤務していたことがあります。現 向陽市立向陽小学校で6年生を担任。在 向陽小学校は「京のエコスクール」に京都市教育委員会から指定され平成14、15年度と環境教育の研究をしています。詳しくは下記Eメールを参照して下さい。  
<http://www1.kyoto-be.ne.jp/koyasu-01/>

### ③ 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718

主催：長岡市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト  
長岡市立中央公民館  
後援：長岡市 / 長岡市教育委員会

## 第10回記念 環境教育ミ-ティング

日時 平成15年 11月29日(土) 夜7時~9時  
会場 長岡市立中央公民館・視聴覚室(2階)

参加は無料

基調講演①  
**長岡京市の環境教育行政について**

長岡京市の教育行政担当者による、長岡京市における環境教育の現状と課題について話していただき、参加者からの発言を交えて、共に環境教育を考えていきます。

基調講演②  
**長岡京市の環境行政について**

長岡京市の行政担当者による、長岡京市における環境行政の現状と課題について話していただき、参加者からの発言を交えて、共に環境を考えていきます。

### 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718

主催：長岡市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡市立中央公民館  
後援：長岡市 / 長岡市教育委員会

## 第11回 環境教育ミ-ティング

日時 平成15年 1月31日(土) 夜7時~9時  
会場 長岡市立中央公民館・視聴覚室(2階)

参加は無料

### ① デンマークの風力発電

**【話しの内容】**  
東洋電機から出向した製品をメンテナンスの会社に勤めています。今年、ボンプのメーカーである「デンマーク」の会社からデンマークにある「本社工場はツブナー」への招待がありました。12社の内の一社として約1週間デンマークの旅をしましたが、その時「風力発電」により発電の50%を占める風力に出会いました。

**【発表者 田口利久さん】**  
東洋電機(株)に勤務。給水装置の仕事に従事。電気制御のメンテナンサー。  
「環境教育プロジェクト」のメンバー。  
長岡京市に在住。

### ② 環境教育を通して考える生命の尊重

**【話しの内容】**  
生命の大切さが忘れられたかのような昨今、人間の命はもちろん、全ての生き物の命が大切であること子どもたちに伝えたいという思いから、食物連鎖をテーマに選び、学習を進めました。人間にとっては、いやな生き物ややらない生き物も、自然の循環の中では、大切な役割を果たしており、どの生き物の命も大切であることを、小学校2年生が理解できるように工夫して授業をしました。そして、「京のエコスクール」の発表会では、この「食べると食べられる」の学習を、さらに、発展させて、「人間と動物」「人間と自然」の望ましい在り方について考え、発表しました。今日は、向陽小の2年生が昨年、取り組んだ内容を発表します。

**【発表者 吉岡信尋さん】**  
向陽市立向陽小学校に勤務。第2学年を担任。「総合的な学習の時間」の学習プログラムを研究しています。長岡京市に在住。

### ③ 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718

主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市 / 長岡京市教育委員会

## 第12回 環境教育ミ-ティング

日時 平成18年 3月27日(土) 夜7時～9時  
会場 長岡京市立中央公民館  
視聴覚室(2階)

参加は無料

### ① デンマークの風力発電

【話しの内容】

東洋電機から出資した協力をメタテラ社に勤めています。今年、ポンプのメーカーである「アルドフォス」という会社からデンマークにある「本社」の夏学生ツアーへの招待がありました。17社の内の1社として約1週間デンマークの旅行をしましたが、その時「風力発電」により発電の90%を自然エネルギーで賄っていました。

【発表者 田口利久さん】

東洋電機(株)に勤務。  
風力発電の仕事に従事。  
電気設備のメンテナンス。  
「環境教育プロジェクト」のメンバー。  
長岡京市に在住。



### ② 楽しい西山自然教室

【話しの内容】

小学生の自然体験・職業体験・遊び体験・職業体験活動です。チャレンジ園で野菜の種まき、手入れ、収穫などの作業。とりたて野菜入りのカレーライス、餅つき、七夕作り、さなご餅、大豆の五目煮、餅つき、野草の天ぷらなどの調理。たき火でパンを焼く、イモを焼く、竹藪工、枝や木の葉を使ったクラフト。農家の朝市販売体験。春夏秋冬の4回西山自然教室で、西山の自然を子ども達に伝えていきます。いろいろな生き物に会いました。大きなついでプランクもしました。農家、市民、学生ボランティアが一緒に活動を支えながら、楽しんでいます。準備期間のようすや2年間の取り組みをお話します。

【発表者 尾崎百合子さん】

西山自然教室代表。  
長岡京市立中央公民館委員。  
京都府立大学環境教育推進委員。  
NPO法人ネットワークつうふ会。  
日本NPO学会会員。  
長岡京市在住。

### ③ 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718

主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市 / 長岡京市教育委員会 (予定)

## 第13回 環境教育ミ-ティング

日時 平成18年 5月22日(土) 夜7時～9時  
会場 長岡京市立中央公民館  
視聴覚室(2階)

参加は無料

### ① わが家のISO環境

【お話しの内容】

ISO14001環境マネジメントシステムは日本中の多くの企業や自治体、学校等が認定を受け、活動を支えています。しかし、日本のISO推進活動はISO14001とISO9001とが混在しています。分かりやすいISO9001(2000)とISO14001(1996)とを分かり易く教材にしましたが「わが家のISO」です。廃棄物を減らすのは、家計(マネジメント)を節減する事になります。皆様の家計の一助になれば幸いです。

【発表者 北濱政且さん】

小島工業(株)長岡京事業所勤務(環境管理委員会委員)。「ISO14001」認定まで。現在は宇治市の水産物加工場の現場監督に就任。防犯委員。長岡京市環境推進委員。長岡京市環境推進委員。つづしが長岡京市環境推進委員。長岡京市環境推進委員。長岡京市環境推進委員。長岡京市環境推進委員。

### ② 地球憲章と環境教育

【お話しの内容】

地球上の生命・人間の安全と発展をめざす「地球憲章」は1994年に制定が実現され2000年に完成。現在は普及の段階に入っている。環境だけでなく、人権、文化、平和の要素をもめざす「地球憲章」は、電子サイトでも議論され、毎年おこなわれる「国際持続可能な開発のための教育の10年」の中の教材としても期待が高まっている。「地球憲章」を通して世界の人の手を繋ぎあわせて新しい世界を創ることが出来るのか?期待を込めて解説をする。

【発表者 野村克己さん】

OXIネット事務局  
京都市下木道町  
工学博士  
長岡京市環境の部づくり会議  
環境教育プロジェクト員

### ③ 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718

主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市 / 長岡京市教育委員会

## 第14回 環境教育ミ-ティング

日時 平成18年 7月24日(土) 夜7時～9時  
会場 長岡京市立中央公民館  
視聴覚室(2階)

参加は無料

### ① 旅先で見た環境活動

【お話しの内容】

仕事やNPOの活動等で、海外に行った時に見た事・体験した事をお話したいと思います。環境教育の先進国としては、ドイツ及び長岡京市の姉妹都市アーンラントイェンシュタットの事例について、又、環境関係の先進国としては、タイ・ベトナム・カンボジア、ウズベキスタン、アフガニスタン、ネパール及びインドの環境と関連点について、お話ししたいと思います。

【発表者 小山正博さん】

1949年(昭和24年)5月 生まれ  
環境学専攻 関西大学卒業  
1976年 アトラストラベルコンサルタント設立  
1989年 アトラス神戸設立 現在に至る  
1976年 長岡京市アーンラント友好の会設立  
現在 長岡京市友好交流協会 副会長  
アーンラント委員会 委員長  
アイコーボー(NGO) 理事

### ② 公民館と環境教育

【お話しの内容】

公民館は、地域住民が気軽に集い合える「まち社会」を創っていくための環境教育の場です。公民館での環境教育の取り組み「まち社会」を促進していくための一つです。長岡京市の環境教育の取り組み事例を語り交わしながら、環境問題を学ぶ意義についてお話しします。

【発表者 橋本道広さん】

長岡京市立中央公民館勤務  
公民館歴15年  
専任 副長



### ③ 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718

主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市 / 長岡京市教育委員会

## 第15回 環境教育ミ-ティング

日時 平成18年 9月25日(土) 夜7時～9時  
会場 長岡京市立中央公民館  
視聴覚室(2階)

参加は無料

### ① 企業における環境活動

【お話しの内容】

長岡京市環境の部づくり会議。1997年11月に環境の部づくり会議であるISO14001認定取得しました。取得後にも環境活動を推進してまいりましたが、本場での活動を展開したのは、やはり認定取得後からです。これまでの取り組み、企業内の環境教育の推進状況を中心とした内容をお話ししたいと思います。

【発表者 遠藤武男さん】

昭和22年4月生まれ  
昭和49年 松下電器工業  
製品工場(製品保証部)入社  
昭和59年 松下電器工業  
製品工場(製品保証部)に転属  
平成13年 ISO14001社内認定取得  
長岡京市立中央公民館環境推進委員会(企業部)委員  
松下電器工業 環境部 長岡京工場環境推進グループ  
京都府環境推進チームリーダー

### ② 道徳授業における環境教育

【お話しの内容】

中学校の道徳授業で実施している環境教育をお話します。道徳は共に生きる自分の生き方を考え、それを生活に生かすことです。「トイ」は毎年生かしているテーマの一つです。あまり目を向けずに授業生活を過ごすことによって、環境の、いろいろなことを考えさせます。

【発表者 西村日出男さん】

昭和20年生まれ。  
現在)大阪教育大学、京都教育大学で「道徳教育」「教育学」関係の講義を担当し、中学校でも「道徳」を担当している。  
長岡京市環境推進委員会  
長岡京市立中央公民館環境推進委員会  
環境教育プロジェクト員

### ③ 質疑・意見交換・交流

発言された方も、されなかった方も、感想をお寄せ下さい。Tel/Fax:075-952-3718







主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト/長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市 / 長岡京市教育委員会

## 第24回 環境教育ミーティング

日 時：平成18年 3月23日(木) 夜7時～9時

会 場：長岡京市立中央公民館 視聴覚室(2階)

# 「脱・使い捨て」宣言!

## ～広がるリユース食器～

参加は無料

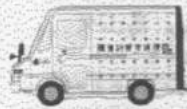
発表者：太田航平さん

### 【お話しの内容】

お祭りやイベントには数多くの住民や観光客などが集まりますが、紙製やプラスチックなどを多用するあまり、「環境負荷の軽減」や「具体的なごみ減量対策」はあまり考えず、大量に廃棄物を出しているのが現状です。

お祭りやイベントは迅速のライフスタイルと一線を引いた非日常に存在しますが、具体的なごみ減量の取り組みを行うことで、環境に配慮した事業になることはもちろん、循環型社会を構築する大きなきっかけ「市民への具体的な環境教育」となります。今回は「リユース」を中心とした環境対策の先進事例をご紹介します。

質疑・意見交換・交流  
感想をお寄せ下さい。Fax: 075-952-3718  
プロジェクトリーダー：西村日出男  
sun246ra@box.kyoto-inet.or.jp



### プロフィール

2000年長岡京生まれ。立命館大学政策科学部卒業。高校時代に環境活動に関わるようになり、大学入学後「環境青年連盟 K20 センター」を設立。その活動の中で、「市民が理解を容易にする観点から」と考え、さらに、日本で初めて400人以上が参加する環境展、400 家庭コミュニティ講座「暮らしとエコオカサマ」設立に尽力。現在、同展のアドバイザーを務めると同時に、400 家庭展をコーディネートする「京都プロジェクト」の事務局として活動。それと同時に、持続可能なまちづくりや環境教育などを実践する「京都環境教育プラットフォーム」にて代表理事を務め、様々な活動を実施。昨年4月から、リユースを中心とした環境対策を実施。18年度は「環境対策推進 18-20」が全国で展開している。

主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト/長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市 / 長岡京市教育委員会

## 第25回 環境教育ミーティング

# 環境教育と人権

発表者：田中利宏さん

参加は無料

日 時：平成18年 5月25日(木) 夜7時～9時

会 場：長岡京市立中央公民館 講座室(2階)

### 【お話しの内容】

環境教育を高校でやるとしたらどんな形になるかを講演ではなく授業の形式でやってみようと考えています。環境問題はいろいろな世界と関係しているし、人口問題・貧困の問題などという地球の課題とも関係しています。環境問題の本質をわかりやすく理解してもらい、解決のためにどのような行動をする必要があるのかをいっしょに考えましょう。今までの授業とちよっと違う参加型授業を体験してみてください。(小中学生の参加も可能です。家族で遊びに来てください。)

質疑・意見交換・交流  
感想をお寄せ下さい。Fax: 075-952-3718  
プロジェクトリーダー：西村日出男  
sun246ra@box.kyoto-inet.or.jp



### プロフィール

1985年関西学院大学商学部卒業。新野高校、八幡高校、府立商業(現京都さくら)高校を体験し、現在、乙訓高校7年。教科は商業科・情報科を担当。クラブはサッカー部。商業科の中で、国際関係に関わったことから、開発教育や人権教育に興味を持つ。

主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト/長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市

## 第26回 環境教育ミーティング

参加は無料

# 学校、企業、NPO、大学、行政機関 (府・市・町)がいっしょに進める環境学習

発表者：山本美由紀さん

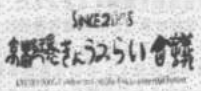
(京都環きょうみらい会議)

日 時：平成18年 7月20日(木) 夜7時～9時

会 場：長岡京市立中央公民館  
講座室(2階)

### お話しの内容

- 京都環きょうみらい会議って何?
・地球温暖化防止アピール文発布
・環境ガイドブック(小中学校)発行
・京都環きょうみらい会議の概要
- 小中学校での環境学習の取組
・行政機関との連携
(清浄化センター、クリーンプラザ、乙訓保健所、京都市環境対策推進センター等)
・企業との連携
(島津製作所、村田製作所、道徳製作所、京セラ、サンレービール京都工場、関西電力、大船ガス等)
・環境団体、NPO等との連携
(京都府地球温暖化防止推進センター、日本モリタ協会、新エネルギー財団、長岡京市環境の部づくり会議等)
- PTA・地域の連携
・総合的な学習の時間・教科での環境学習
・生徒の環境調査とその発表



### プロフィール

小中学校の教員、先進企業で環境管理・出前講座実施に携わる方、地球温暖化防止活動推進団体の専門家、大学研究者、府・市町行政機関の職員(環境部局、教育委員会)等が一堂に集し、特に小中学校における環境教育の推進の方法を語り、環境学習プログラムを作成するほか、関連する協議・調査や、関係機関への働きかけなどを行っている。

質疑・意見交換・交流  
感想をお寄せ下さい。Fax: 075-952-3718  
プロジェクトリーダー：西村日出男  
sun246ra@box.kyoto-inet.or.jp

主催：長岡京市環境の部づくり会議・環境教育プロジェクト/長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市

## 第27回 環境教育ミーティング

参加は無料

# 生ゴミの画期的処分法

(生ゴミ好気性発酵分解資材・容器について)

発表者：高田稔弘さん

日 時：平成18年 9月21日(木) 夜7時～9時

会 場：長岡京市立中央公民館  
視聴覚室(2階)

### お話しの内容

- ①ソルビオ(酵素発酵資材)開発、販売に至る経緯  
森のめぐみ(パーク建設)の発酵に関する研究から  
ゴミ分解資材販売に至る経緯、ISO14001  
の目的、目標項目にあげている弊社の思い、
- ②ソルビオの効果の説明  
ソルビオP-1(固形)生ゴミ、富栄養の分解  
ソルビオP-4(液状)生ゴミ、有機汚濁の分解
- ③現在のゴミ問題の現状  
各自治体による、ゴミ処理の経費、量、焼却灰の  
処分先(埋め立て)の現状
- ④愛知県での各自治体様との取り組み  
稲沢市埋め立て場との取り組みまでの経緯、市役所  
での生ゴミ減量試験から市民モニターによる試験の  
開始(実際のアンケートの回答内容)→補助金対  
象商品になる経緯
- ⑤各自治体様への広がり  
大山市、豊田市、愛西市、岡崎市、江南市、日高  
市、河津市など愛知県内各自治体様への広がり



### 高田さんのプロフィール

平成5年 京都府立西宮市に出生。農業、肥料、園芸、園芸ネット、ビニール、EM  
薬等 園芸全般の製品を扱う営業を行う。  
販売先はホームセンター、農産店  
平成13年 営業課長に就任。orはアグリ  
で上記商品の販売を行う。あわせて販売して  
いた森のめぐみ(パーク建設)の初期営業課長  
一カ所としての商品開発、販売を行う。  
販売先は同社、園芸店、種苗店

質疑・意見交換・交流  
感想をお寄せ下さい。Fax: 075-952-3718  
プロジェクトリーダー：西村日出男  
sun246ra@box.kyoto-inet.or.jp



主催：長岡京市環境の暮らし会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市

第28回 環境教育ミーティング 参加は無料

## 長岡京市のごみの現状と課題

日時：平成18年 11月30日（木）夜7～9時

きもとなおき  
発表：木本直樹さん

会場：長岡京市立中央公民館  
視聴覚室（2階）



### お話しの内容

ごみ処理法の原型と言われている「汚物箱制度」が由来なのが明治33年（1900年）、それから100数年が続いています。長岡京市でも、昭和26年にリヤカーによるごみ収集を開始し、今年で55年になりました。

現在の11種分別収集は平成13年度より行っていますが、分別マナーや収集や処理に係る経費の高騰など、様々な課題に直面しています。

それらの課題について、実際の現場で撮影した写真などを見ながら検証を行い、地域現場での対策が望まれている問題、とりわけ廃棄物問題について、どのような取り組みを講じていけばよいのか、参加者のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

### 【プロフィール】

昭和58年 長岡京市役所入所  
平成12年4月 経済衛生部衛生課  
平成15年4月より、現在の環境経済部環境業務課に所属し、主に一般廃棄物処理業務を担当する。長岡京市の廃棄物問題について、各種団体が開催する環境学習で現状報告を行うなど、積極的な啓発活動を展開している。

質疑・意見交換・交流  
感想をお寄せ下さい。Fax: 075-952-3718  
プロジェクトリーダー：西村日出男  
sun246ra@box.kyoto-inst.or.jp

主催：長岡京市環境の暮らし会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館  
後援：長岡京市

第29回 環境教育ミーティング 参加は無料

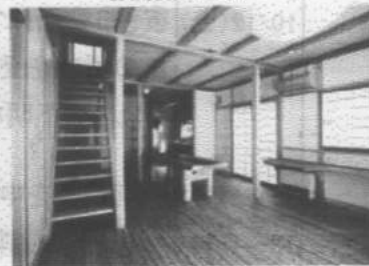
## 木材から見た環境

～～近くの木で住まいをつくらう～～

日時：平成19年 1月25日（木）夜7～9時

くりやまひろこ  
発表：栗山裕子さん

会場：長岡京市立中央公民館  
視聴覚室（2階）



### 【プロフィール】

- ・1947年生まれ、
- ・1級建築士・インテリアプランナー・インテリアコーディネーター
- ・1976年WVA建築設計事務所開所。
- ・自然素材による職人たちの手仕事が見える、丈夫で長持ちする家づくりがコンセプト。
- ・児童福祉施設、古民家や町家の再生、地域産材での住まいづくりを実践している。
- ・（社）京都府建築士会、NPO 古材文化の会、京都・森と住まい100年の会、会員

### お話しの内容

近くの山の木で普通に暮らす家を普通につくる。どんな家をつくるのか？自然のサイクルに合った、木の家の良さやそのつくりかた、大切さを事例を踏まえて一緒に考えます。

質疑・意見交換・交流  
感想をお寄せ下さい。Fax: 075-952-3718  
プロジェクトリーダー：西村日出男  
sun246ra@box.kyoto-inst.or.jp

主催：長岡京市環境の暮らし会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館  
共催：西山森林整備推進協議会 後援：長岡京市

第30回記念 環境教育ミーティング 参加は無料

## 森林が身も心も癒す

日時：平成19年 3月22日（木）夜7～9時

発表：今西 二郎さん

会場：長岡京市立中央公民館  
講義室（2階）

### 【プロフィール】

京都府立医科大学微生物学教室教授  
・感染免疫制御学  
・地域環境医学  
・補完代替医療学  
・京都府高病原性鳥インフルエンザ専門家会議（平成16年3月）の座長



### お話しの内容

専門のウイルス学、免疫学の視点からのサイトカイン（細胞が産生する蛋白）研究と、補充・代替医療としての漢方セラピー（芳香療法）研究を踏まえて、統合医療の一環としての森林セラピーを中心に、テーマに沿ったお話しをしていただきます。随うご期待！

質疑・意見交換・交流  
感想をお寄せ下さい。Fax: 075-952-3718  
プロジェクトリーダー：西村日出男  
sun246ra@box.kyoto-inst.or.jp

### 【会場】

長岡京市立中央公民館と共催し、中央公民館を会場とする。

### 【開催時】

午後7時～9時

### 【時間】

話し合いの時間を十分にとり、交流、ふれあい、情報交換をする。

### 【話題提供者】

1～2人の方に発表していただく。長岡京市に在住、在職または当会議メンバーの方による環境改善等の活動報告あるいは意見発表をしていただく。

### 【広報】

「環境教育ミーティング」のお知らせとMEET (Miyako Environmental Education Times) を作成し、環境教育ミーティングの内容や意見、感想を記載・発行し、さらに広い意見交換、交流を図る。

## 歩いてまち再発見プロジェクト

[平成13年度] H13年8月～H14年3月末

No.	項目	日時	内容	参加者・備考
1	第10小学校区内の探訪・探案	H13年 8/18(土)  8/26(日)  10/12(金)  11/25(日) 13～15時	13時に井ノ内自治会館に集合、事前説明を受け3班に分かれ岡地区の北東、北西、南方面に向かう。調査は民家、井戸、神社、寺、農地、作物など地域の人に聞く。自治会館に戻り模造紙に班毎にインスタント写真など貼付け、マップ作り・発表。16時頃解散。  夜、市役所にて上記マップの整理。不明事項の検討。  夜、市役所にて井の内在住の野村重治氏、長谷川貫氏の説明を受け、マップの精度をあげた。それでも不明な点は再度現地探訪することにした。  角宮神社を中心に村の東西南北を全員で探訪し、マップをより詳細にまとめた。	15人 (男10、女5)  7人 (男5、女2)  16人 (男10、女6)  8人 (男6、女2)
2	第5小学校区内、奥海印寺地区の探訪・探案	8/19(日)  11/4(土) 10～15時	13時に奥海印寺自治会館に集合し説明を受けた後3班に分かれ、探訪・探案。会館に戻りマップ作りし、班別発表。  10時 小泉橋集合し「小泉川探訪」を開始。上流に向かって川沿いに西山キャンプ場まで歩く。同川の今昔、流れ方、魚、周辺の草花、野鳥などを調査。奥海印寺バス停広場で模造紙を広げマップ作り。	14人 (男9、女5)  11人 (男6、女5) 女性2名は小学生
3	日吉町「府民の森」見学	H14年 2/9(土)	木工実習室で間伐材利用した本立ての木工体験。林業の現状、施業技術などの講義を聞く。	他チームと合同で13名
4	小泉川源流探案(第1回)	2/24(日)	立石橋より「釈迦岳」方面上流の源流(最長)探案。山道周辺の竹の侵食(中腹まで上がってきている)に驚く。大沢越えの手前で源流地点を確認した。掃塗、柳谷～奥海印寺間道路脇谷あい部のゴミ不法投棄に驚く。清掃方法を検討。	6人 (男4、女2)
5	金ヶ原地区の井戸使用状況調査	2/24(日) 13～16時	当地域での井戸利用状況を調査。22軒中1軒のみ飲料水として使用。他は野菜洗い等に。湯川姓19軒	4人 (男2、女2)
6	第2回市民環境フォーラムで活動概況を発表	3/21(木)	当チームのH13年度活動概況を発表	

[平成14年度] H14年4月～H15年3月末

No.	項目	日時	内容	参加者・備考
1	「長岡天神桜祭り」 竹筒灯取付け作業 (市商工会に協力)	4/2(火) 17:00～ 18:30	八条ヶ池東側の散策路沿いに竹筒灯(水の入った竹筒に丸いロウソクを点火して浮かべる)のセッティング。	3人 (男2、女1)
2	小泉川沿い野草調べ	4/13(土)	金ヶ原橋9時集合、土手沿いに上流へ西代橋先約300mまで歩く。石井寛子さんの説明を受け、野草約40種を確認。掃化種もあった。今年は暖かくなるのが早く、花も早そう。11時半頃竹下町辺で解散。	8人 (男6、女2)
3	小泉川源流探索 (第2回)	4/14(日) 11～15時	立石橋上流約200m地点の橋を渡り、浄土谷方面へ川床を進行、途中の分岐を西方向ルートを選択。14時頃、源流地点発見。そこから更に険しい崖をよじ登るとBゴルフ場のコースに出た。	4人 (男3、女1) (最終地点到着2名)
4	“竹の子まつり”の ボランティア	5/4(土)、 /5(日)	長岡天満宮境内での同まつりに、当会職の「里山再生プロジェクト」が竹炭販売と竹紙すきの実演をするのを応援した。	5/4は男10名 /5は男4名
5	柳谷観音参道ルート 沿い両側のゴミ拾い	5/18(土) 10～12時	10時に奥海印寺バス停前集合、3班に分かれて作業した。松下電器より11名(内女子2名)参加してくれた。市役所の軽トラック1台分回収した。(楊谷寺境内で各自昼食を取って解散した。)	20人 (男16、女4)
6	小泉川のホタルの 話を聴く会	5/26(日) 10～12時	奥海印寺自治会館にて「ホタルを育てる会」の小川会長より、小泉川とホタルの飼育についての話を聴き、その後、カワニナの養成場で現地説明を受けた。	9人 (男8、女1)

[①小泉川: ●昭和10年頃より、立石橋上流辺で、釣竿用黒竹を植えていた。  
●昭和10年の大雨で金ヶ原橋までまっすぐに水路が変更。(川向井橋⇒新川向井橋)  
●下海印寺地区の川にはホタルの餌のカワニナが多い。  
●川向井橋から新川向井橋になったのは、10年ほど前(?)に水路変更になった為。  
●金ヶ原橋の下の段差で、上流へ魚が上れない。

②ホタル:ホタルの餌になるのは“カワニナ”という貝で、夜は貝の蓋をあけて寝ているところにホタルの幼虫が入り込み、身を食べて餌とする。(ちょっと残酷) ホタルを育てることはカワニナを育てることである。カワニナは毎日子を産むが同じ水系でないと子を産まず、水が汚いとホタルの幼虫は死んでしまう。「ホタルは人と共生する生き物である。」  
飛ぶのは雄、雌は移動のみ。寿命は1週間。今年は3～4月に雨が少なかったため、飛翔は少ないかも? 昨年は5/18に初見、今年は5/21であった。]



7	小泉川源流探索 (第3回)	5/26(日) 13~17時	立石橋より西山キャンプ場を経て、支流の深谷川源流を探った。途中へビ1匹が歓迎してくれる。カタクリの芽が多く見られた。15時頃源流地点を探り当てた。	5人 (男4、女1)
8	洛西浄化センター エコアップガーデン見学	6/11(火)	同センターで「ビオトープ」の解説と見学	2人
9	小泉川野鳥観察会	10/12(土) 9~14時	奥海印寺バス停~西代橋、立石橋付近など ガールズ&ボーイスカウト多数参加	31人
10	小泉川源流探索 (第4回)	10/12(土) 14~16時	立石橋上流約200m地点の橋を渡り、浄土谷方面へ川床を遡行、途中の分岐を南方向ルートを選択。源流地点を登っていくと橋谷寺下の駐車場に出た。	3人
11	今里雨水貯留 トンネル見学会	H15年 3/2(日)	今里大通り地下を約650m徒歩見学した。	13人
12	小畑川清掃活動	3/8(土)	一文橋上流500mを清掃	28人

# まち歩き 地元学 プロジェクト

担当 柳沼宣裕

—— まち歩きプロジェクトでは地域の価値を自分たちで探して、発信していきます ——

「豊かさ」とは何でしょう。「このまちに住んでよかった」と思える事はなんでしょう。このプロジェクトではそのような視点から、市内や乙訓のまちを歩いて、そこに住む人々や外部に対して、発信できる「まちの宝」や「まちの夢」を探します。

地元学って何やて？ それは来てのお楽しみ。

2006年度は開設準備をしました。



## ふれあい朝市(勝龍寺)の見学

2006年10月12日

この日はちょうど第八小学校のミニ記者さんたちも取材に来て、農家の人にさまざまな質問をしていました。これって、地元学ですね。将来、楽しみです。



## スーパー前の歩道がとても広いわけ

2006年12月17日

長岡2丁目のスーパー前の歩道がとても広い！ そのわけを探して、地域をぼちぼち歩きました。

この地区の昭和21年米軍の航空写真も出て来て、楽しめました。



## 観音寺池の池ざらい 2006年11月2日

農家組合さんのお手伝いで、一



日中、魚を追い、池を掃除しました。疲れますが、面白い！！

## 『花を咲かそうプロジェクト』の活動



プロジェクトで活躍されていたリーダーが退会され、引き継いだのですが、メンバーの退会もあり、プロジェクトは停止状態になり、他のプロジェクトと一緒に参加することで活動させていただきました。

花を咲かそうプロジェクトとしましては、

2003年は、10月25日、竹ポットを作って手作りフリーマーケットで販売しました。

2004年は、9月26日に、長岡中学校50周年記念バザーで竹ポットに観葉植物苗を入れて、竹炭などと一緒に販売しました。

2005年は、8月21日に、バンビオの市民活動サポートセンターでエコチームの啓発イベントで竹ポットに花苗を入れて販売しました。

2006年は、6月30日に、ビオトープのメンバーと併設されている晨光苑の見学に行きました。ビオトープで作った竹炭を入れた消臭かご10個を寄贈しました。

その他エコチームや環境教育ミーティングの活動などに参加させていただきました。





# 「環境の都ニュース」アーカイブ

みどりの山河いつまでも

**一挙公開!**



2005.3.13

1部50円(郵便切手可)でコピー版をお送りいたします。

ご希望の号数を書いて80円切手を貼った返信用封筒をそえて申し込みください。

申し込み先: 〒617-0852 京都府長岡京市河陽ヶ丘2丁目14-13 草場克彦

# 環境の都ニュース



## 足もとから創りあげる つむぎ織りなす"環境の都"長岡京

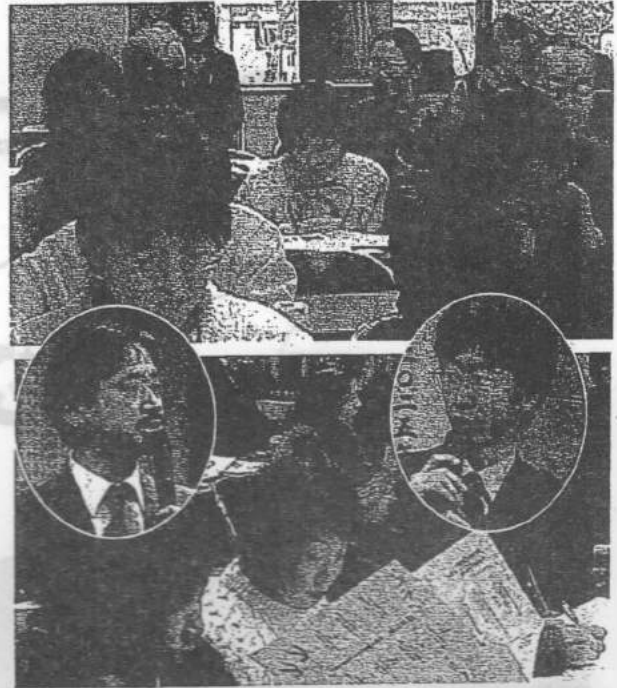
乙訓にはかつて、日本の首都として"都"がおかれ、以来、一千数百年の長きにわたり、先人達はこの地を滔々と守り伝えて来ました。

今日に至るまで、ここに人々が住まい続けてこられたのも、人間の生存基盤である豊富な地下水や桂川水系など水資源や西山のみどり、そしてそれらに育まれる農産物などの自然環境に恵まれていたからであり、また、人々がそれを手をかけて維持してきたからです。

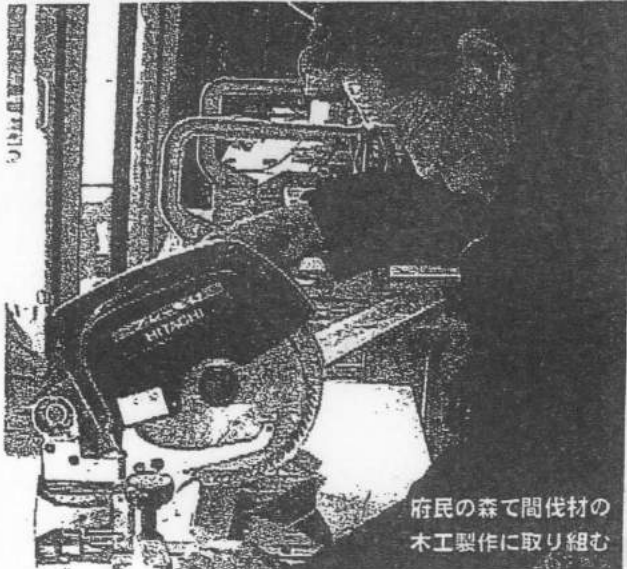
先人から受け継いできた、人々に誇りと安らぎを与えてくれるこの豊かな環境のまちなみを未来世代の子どもたちからの大切な「預かりもの」として、守り、育て、生かしながら持続的に発展させていかなければなりません。

長岡京市は世界に発信できる日本の「環境首都」をめざし、ここに集うすべての人々が参加し、一緒に協力しながら、自然環境のみならず、暮らしと経済、文化ともに豊かで、子どもたちが住み続けることのできる魅力ある"環境まちづくり"を進めます。

1



## 第1回環境フォーラム開かる 平成14年1月20日 市立中央公民館にて



府民の森で間伐材の  
木工製作に取り組む

NPO政策研究所専務理事

## 内山博史氏講演決定 第2回環境フォーラム開催

平成14年3月21日13時30分 開田自治会館  
第4面に御案内しております



小泉川沿い草花調べ  
開催日 2002.4.14  
参加者 9名

## 第3回環境フォーラム開催

長岡京市の緑の環境を考える

長岡京市緑の協会常務理事 永田敏夫氏

長岡京市森林組合長 立林禮治氏

平成14年6月15日13時30分 産業文化会館

# 環境の都ニュース

発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：磯野 高貴  
発行日：2002年7月1日  
**No.5**

ホテル専用溝を  
のぞきこむ参加者



5月26日(日)小泉川  
ゲンジボタル勉強会のようす



小泉川の水を ポンプで  
ホテル飼育場へ汲み上げています

- 2面：活動報告【歩いてまち再発見プロジェクト】
- 3面：第3回市民環境フォーラムの報告/今後の活動・イベントのご案内
- 4面：平成14年度総会の報告【役員紹介、活動計画案】/プロジェクトから

★長岡京市環境の都づくり会議では、ともに活動していく仲間を募集しています。  
活動に興味をもたれた方、まずはお気軽にお問い合わせ下さい！  
事務局 市役所生活環境課 電話 075-955-9542(直通) FAX075-951-5410(代表)

# 環境の都ニュース

発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：磯野 高貴  
発行日：2002年8月1日  
**No.6**

8/19,22,26 里山再生プロジェクトによる  
「木工教室」が開催されました。



「親子でのづくりのおもしろさを体験できてよかったです！」  
＜神足のYさん＞  
※写真とは関係ありません

8/19,22,26の3日間 6教室に  
親子103名が参加！

第4回市民環境フォーラムを開催します。

「長岡京市内のゴミ回収とゴミリサイクルを考える」  
平成14年10月26日(土)産業文化会館1階大会議室 入場無料  
※詳細は3面をご覧ください。

- 2面：活動報告【歩いてまち再発見プロジェクト、環境教育プロジェクト、里山再生プロジェクト 他】
- 3面：第4回市民環境フォーラム開催のご案内/今後の活動・イベントのご案内
- 4面：市内の環境に関する取り組みレポート/平成14年度プロジェクトの紹介

★長岡京市環境の都づくり会議では、ともに活動していく仲間を募集しています。  
活動に興味をもたれた方、まずはお気軽にお問い合わせ下さい！  
事務局 市役所生活環境課 電話 075-955-9542(直通) FAX075-951-5410(代表)

# 環境の都ニュース

発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：磯野 高貴  
発行日：2002年11月1日  
**No.7**

10月26日、産業文化会館にて  
第4回市民環境フォーラムが開催されました。参加者51名



とても勉強になりました。  
すばらしい冊子を提供して下さったことに感謝します。  
東和風 Yさん  
※写真とは関係ありません

自分の住む地域について、  
知らないことがたくさん  
あることに気がしました。  
緑ヶ丘 Kさん  
※写真とは関係ありません

第4回市民環境フォーラム  
—長岡京市のごみ回収とごみリサイクルを考える—

- 基調講演
- 「長岡京市のごみ回収の現状」 市役所衛生課課長 上村敏久さん
  - 「サントリー京都ビール工場の環境活動」 サントリー 柳野正則さん
  - 「アルミ缶のリサイクルについて」 アルミ缶リサイクル協会 前原久さん
  - 「ペットボトルの繊維再生について」 帝人 武田恵子さん
  - 「牛乳パックのリサイクル」 長岡京市牛乳パックリサイクルの会 今井輝子さん

- 2面：活動報告【4つの話題】
- 3面：活動報告【各プロジェクトより】/今後の活動・イベントのご案内
- 4面：市内の環境に関する取り組みレポート

★長岡京市環境の都づくり会議では、ともに活動していく仲間を募集しています。  
活動に興味をもたれた方、まずはお気軽にお問い合わせ下さい！  
事務局 市役所生活環境課 電話 075-955-9542(直通) FAX075-951-5410(代表)

# 環境の都ニュース

発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：磯野 高貴  
発行日：2003年1月1日  
**No.8**

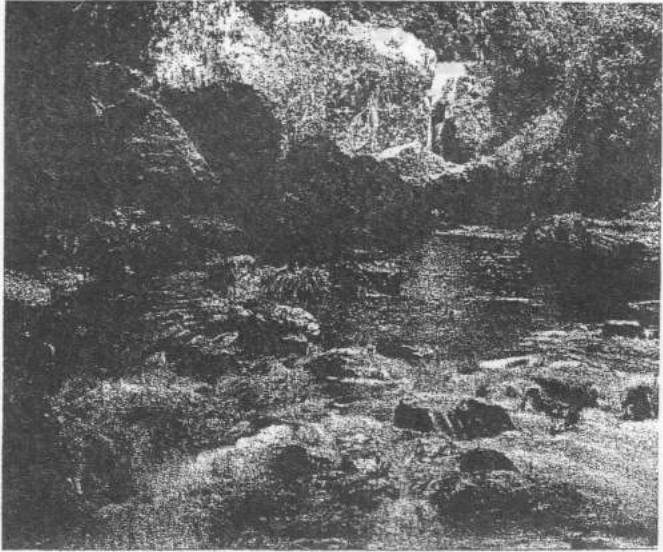


(写真提供 市役所水道局)

- 2面：新年を迎えて～ご挨拶～/活動報告【3つの話題】
- 3面：活動報告【各プロジェクトより】/今後の活動・イベントのご案内
- 4面：市内の環境に関する取り組みレポート

★長岡京市環境の都づくり会議では、ともに活動していく仲間を募集しています。  
活動に興味をもたれた方、まずはお気軽にお問い合わせ下さい！  
事務局 市役所生活環境課 電話 075-955-9542(直通) FAX075-951-5410(代表)





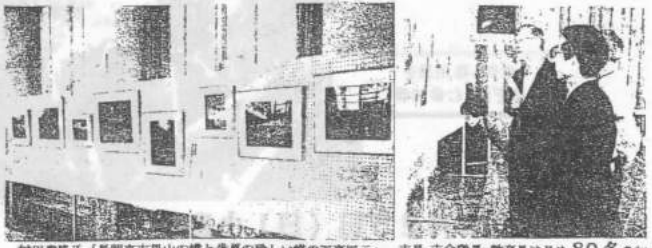
(教育委員会・長岡京市景より 小見川石付近)

2・3面：活動報告(各プロジェクトより)  
 3面：今後の活動・イベントのご案内  
 4面：環境にかかわる情報

★長岡京市環境の都づくり会議では、ともに活動していく仲間を募集しています。  
 活動に興味をもたれた方、まずはお気軽にお問い合わせ下さい！  
 事務局 市役所生活環境課 電話 075-955-9542(直通) FAX075-951-5410(代表)

**第5回市民環境フォーラム開催**

3月29日(土) 長岡第4小学校多目的教室と校区一番



村田善雄氏「長岡京市里山の雄と世界の珍しい雄の写真展示」 道長、市会議長、教育長はじめ80名参加！



藤原綾子、田丸千晶先生の指導により1日間の家庭唱歌台  
 校区内野草のデジタル調査と長岡京市 IT 2.1の啓蒙の協力によるカレンダーづくり

2.3面：活動報告(各プロジェクトより)  
 3面：今後の活動。イベントのご案内  
 4面：環境にかかわる情報

★長岡京市環境の都づくり会議では、ともに活動していく仲間を募集しています。  
 活動に興味をもたれた方、まずはお気軽にお問い合わせ下さい！  
 事務局 長岡京市環境政策推進課 電話 075-956-9542(直通) FAX075-951-5410(代表)

**長岡京市主催の「みどり笑顔のまちづくりフォーラム」**

環境の都づくり会議より鶴野さん、山本さんがパネリストとして参加



7月21日長岡京市立産業文化会館にて <写真提供 株式会社 総合計画機構>

2.3面：活動報告(各プロジェクトより)  
 3面：今後の活動。イベントのご案内  
 4面：環境にかかわる情報

★長岡京市環境の都づくり会議では、ともに活動していく仲間を募集しています。  
 活動に興味をもたれた方、まずはお気軽にお問い合わせください。  
 事務局 長岡京市環境政策推進課 電話075-955-9542(直通) FAX075-951-5410(代表)

**秋晴れの中盛大に第6回市民環境フォーラム開催**

産業文化センターにて長岡京市環境の都づくり会議、長岡京市環境政策推進課共催



科学おもしろ実験/工作コーナーに子供たちの歓声！



10月26日(日)産業文化会館にて「家庭そろって省エネ体験！」という呼びかけのもとに、多くの市民が参加され、美しいDVDの映像で「省エネのすぐれ技」を勉強したり、基調講演では近畿経済産業局村木哲男さんが「地球温暖化防止のためのエネルギー政策と市民の関わり」と題して日頃は聞かない省エネに関する国の施策などのお話を大変わかりやすく話して頂きました。会場には省エネルギー問題の解決パネルや展示物のほか、自転車こいで発電して模型の新幹線を走らせたり、「歩くエコ」や「よく飛ぶ飛行機」などのコーナーがあり、ちびっから大人まで時間を忘れ楽しみながら環境問題を一考する場となりました。これを機会にわれわれ市民も地球温暖化に向けて役立つ活動の呼びかけを「環境の都づくり会議」から発信していきたいと思ひます。



















## メンバーの声

五周年を機会に長岡京環境基金を！  
粟津 達雄

長岡京「環境の都づくり会議」設立5周年心よりお喜び申し上げます。遡れば今日まで公民を問わず我が町「住み良い長岡京」づくりを目指し数々の施策がなされて参りましたが、その結果なるものは部分的にはあっても目に見える市の環境改善は散漫、且つ小規模なものばかりであった様に感じます。ようやく、去る2月20日発表された07年度予算案で「環境、市民生活」に重点を置いた方針が出された。「環境、健康、安全」をキーワードに小田市政がスタートするに当たり、特に環境問題に特化する「環境基金」の創設を提案したい。すなわち、市民の肉体的ボランティア活動にも限界があり、より早く実効を上げるため、諸活動（テーマ）に対して金銭的な強力な支援がないと市の予算だけでは推進のスピードが極めて遅い。従って、月一回「100円環境募金の日」を設け、市民の協力を呼び掛ける。また、月一回「市民環境の日」をセットし、市民一人一人が何でもよい環境に関する事に取り組む運動を推進してはどうでしょうか！この提案には、いろんなご意見、法的な制約等考えられますが、市長以下全市職員、市議会、各企業、各種団体等一本にまとまった推進会議の核となる市長より責任と権限を委譲された推進組織が必要と思われまます。寄稿に当たり、一市民として40年に亘る長岡京生活の中で、残り少ない人生を思い、自らの自己中心的な発想、既得権益、市民個々の役割等思い直す良い機会と捕らえました。

千の風に

加藤 克巳

環境基本計画策定に2年間、その後の実施活動に6年間、合計8年間、とにもかくにも活動を続けてきたことが評価されるでしょう。

環境の問題は、引続き世の中の最重要課題であり続けます。

社会の仕組みを変えるような大きな転換は、大きな船の方向転換と同じように簡単にはいかず、20年も30年も、来た道と同じくらいかかるかも知れません。

私も便利さを金で買う生活をしています。

とにかく、若い人も一緒に関わり続けることだと思います。

やがて千の風になるはずです。



湯川 智子

花を咲かそうプロジェクトとしての活動は少ないのですが、他のプロジェクトに関わり、一緒にやってきた5年間は楽しく、有意義な時間だったと思います。

これからも、自分のできることをして、環境の都づくり会議の皆様と頑張っていけたら幸いです。

**内服薬**  
なにかしてみたいあなた 殿

一回に こな薬 包  
カプセル 3 個  
錠剤 錠

下記の○印の時間におのみください  
のみかた

一日3回	毎食前
一日3回	毎食後
一日2回	朝夕 食後

○おすきな時

効能 滋養強壮、取内安全、高血圧比、血酸調整

投票日 2007年 4月 1日

長岡京市環境の都づくり会議  
京都府長岡京市朝田  
TEL (075) 951-5410

注意 飲みみずぎで、のめりこみみずぎにご注意を

100日分

竹炭用の竹の確保を兼ねて放置竹林の整備と西山の環境保全を目的としてピオトープ内に竹林再生部会を発足させて二年目を迎えた当初は放置竹林を貸してくれる地主さん探しに大変苦労した。西山を散歩していたら、至る所に放置された竹藪が有り、目を覆いたくなるほど景観が汚染されている。そこにボランティアが手を入れてあげようというのであるが地主さんは誰も手を挙げてくれない。

なぜ！なぜ！

幸いにも市の仲介で光明寺裏山の竹藪を借用でき、やっとの事で活動が出来ようになった。ボランティアの輪も広がり 15 名に増え、周囲からも明るく美しくなったと評価を得られるようになった。竹に関する知識も腕も金も無い、有るのは老いた身体だけであったが、その身体で汗をかきがんばってきた。たかが竹だが、竹に賭ける想いはこの一年の活動で大きく膨らんできた。

この想いをさらに深め、拡大するにはさらなる汗をかかなくてはならないと思う。

くしくもボランティアの一人が「筈の報酬よりも健康づくりが出来て楽しい」と話してくれた。まさにこの気持ちにボランティア仲間の強い結束につながってきたと思う。

成果よりも今年も健康づくりをかねて竹と戯れ、ボランティア仲間との親交を深め楽しく遊びながら最大の目的である西山の自然環境を守り、里山と人間が共生できる環境づくりに夢を託していきたいと思う。

「大損の 穴を埋めんと 国富論」  
西村日出男

いくつかの自治体で大きな赤字が出ている。

しかし、再建計画によって再建されるだろう。

不都合なことを先送りにして、地球も赤字になろうとしている。

赤字の穴埋めを子孫に委ねるのは無責任だ。

アダム・スミスの『国富論』では利潤追求をしても見えざる手で社会は調和されると言うが、今日の過剰な情報と消費物資による人間の欲望は見えざる手を俵っていては手遅れになる。句の意味は「オゾンホールは見えざる手を俵つのではなく、見える手でフロンガスや二酸化炭素を削減させよう」というものである。

少し無理があるかな？

CO<sub>2</sub>の過剰排出、乱開発による自然破壊などにより地球の温暖化現象は今私たちのまわりをみても非常に顕著です。

この世に生をうけ、自然の恵みを享受して60年、すこしでも地球温暖化をくいとめることが今まで健康に生きる事ができた社会への恩返しと思い「環境の都づくり会議」に参加しました。と入会の動機を書いておりますが私たちの会はそんな仰々しいものではありません。気楽に参加して自分のペースで楽しむ会です。是非「環境の都ニュース」を読んで参加してみたいなあと思われたら入会申し込みください。 熱烈歓迎！

#### 田原 誠一郎

私の孫の一人は今小学2年生です。彼が生まれた頃、地球の温暖化はこれからどんどん進み、彼が大人になる頃は危機的な状態になることを学びました。そのときから「孫につけを残さない生活をしよう」をモットーに、環境ボランティア活動をしてきました。

2002年から3年間、京（みやこ）エコロジーセンターで環境ボランティアとしての研修を受けました。ここで習得した、環境に関連する知識や技術、態度を活用して、環境の都づくり会議や長岡京市のみなさんと一緒に、次の世代に少しでも良い環境を引き継ぐための活動をしたいと思っています。

京都環境フェスティバルがご縁で入会させていただきました。よろしくお願ひ致します。これまでいろいろな環境活動をしてきましたが、今振り返ると随分間違った「環境に良いこと」もしています。物事の一面だけ見て飛びつくと、後から必ず別の視点に気がきます。本当に環境は難しい。でもこれまでしてきた中で自信をもってオススメできることの1つが「紙ひもの普及」です。まだ古紙回収に紙ひもを使っていない方、ぜひお使いください。プラスチックゴミが確実にへりますから！

#### 高橋 肇

環境の都づくり会議発足5周年おめでとうございます。私は、普段は古紙や古着のリサイクル活動をさせて頂いております。長岡京市内では、古紙やボロなどは、市が回収せず、町内会や子ども会等による回収が行われていますが、まだまだ「完全」ではなく、可燃ごみの日に古紙が捨てられている現状を散見します。去年6月からは、個人として使用済みてんぷら油の回収場所になり、微力ではございますが廃油を回収させて頂いております。廃油は捨てればごみですが、回収すれば燃料となり車を動かします。みなさまもぜひ回収にご協力お願いします。



環境ボランティアとして進めるには、複数の人と3人以上で進めるのがいろいろな意見が出てよい。

それに何をやるかを明確にしていく必要がある。温暖化防止対策といっても範囲が広い。

長岡京市環境の都づくり会議は行政とのパートナーシップがあるが、さらに広げていくためには、目的を明確にして、他の団体、事業体、市民団体等と連携を保ちながら、学校、地域団体などに働きかけていく必要があると思っています。

そしてたのしくやりたい。続けていきたい。

私は電気関係の会社で働いてきました。「京都環境フェスティバル2006」で子供に製作してもらうソーラーカーの部品作りを会員の方々と一緒に行いました。少し苦労しましたが楽しい思い出になっています。そのとき電気関係の仕事をした経験が役立ちました。

太陽光発電とか燃料電池についてもよく知って判りやすく説明できるようになりたいと思っています。身の回りの省エネに注力するとともに、活動に参加して省エネの普及に努力します。

### 神山 忠

退職後、関心のあった環境問題改善への取り組みに携わり、あっという間に5年が経ちました。

先輩方の後について ビオトープづくり、竹炭焼き、放置竹林の整備、様々な環境行事への参加、学校などへの環境出前授業などを体験しました。府の環境カレッジや温暖化防止活動推進員として座学によるスキルアップも図ってきました。

楽しく有意義な期間でしたがまだまだ主体性ある本格的な活動には程遠い状況です。これからは自身の充電から他への放電モードにギアを切り替えなければと思っています。活動のあり方も、個々の活動をいかにネットワーク化し面展開するかと言う事もしなければと思っています。そして何より活動を継続し、少しでもその輪を広げる事が大切だと痛感しています。



# 長岡京市環境の都づくり会議会員募集!

今、地球の危機です  
やしませんか?

里山再生プロジェクト



あなたも 何か  
子や孫たちのために

- ・ 森林整備
- ・ 竹林整備
- ・ 竹炭づくり
- ・ 木工教室
- など

環境教育プロジェクト



- ・ フォーラム
- ・ 講演会
- ・ 研修会
- など

その他

- ・ エコチームプロジェクト
- ・ ビオトーププロジェクト
- ・ まちあるきプロジェクト
- ・ 花を咲かそうプロジェクト

などなど いろいろな活動に参加してみませんか・・・

お問い合わせは、各プロジェクトリーダーか下記事務局まで

☎ 617-8501 長岡京市開田一丁目1番1号

長岡京市環境政策推進課

☎ 075-955-9542 (課直通)

FAX 075-951-5410

## 長岡京市環境の都づくり会議 会則

### (目的)

第1条 この会則は、市民・事業者・行政などまちを構成するあらゆる主体が参画しながら持続可能な地域社会づくりを進めるためのパートナーシップ組織である「環境の都づくり会議」(以下「会」という。)の運営に関する必要な事項を定めることを目的とする。

### (会員)

第2条 この会は、環境の都づくりに賛同する人は誰でも会員となることができる。ただし、会員になろうとする者は、事務局会議の承認を受けなければならない。

### (総会)

第3条 年1回総会を開く。会員は総会に参加することができる。

### (運営委員会)

第4条 環境の都づくりについて、全体の推進課題をまとめるために「運営委員会」を設置することができる。

### (専門委員会)

第5条 持続可能な社会の創造に関する専門的な分野における調査研究及び専門的な見地からの指導助言を得るために「専門委員会」を設置することができる。

### (役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

代表	1名
副代表	若干名
渉外	若干名
広報	若干名
会計	1名
監査	2名

### (任期)

第7条 役員任期は、原則1年とする。ただし、再任は妨げない。

### (事務局)

第8条 この会の事務局は、長岡京市開田1丁目1番1号長岡京市役所環境政策推進課内に置く。

2 事務局は、当会役員と環境政策推進課員で構成する。

3 事務局会議は、毎月1回定例的に開催し、必要に応じて随時開催することができる。

4 この会議には、一般の会員も、さらには当会がお願いした団体の参加も認める。

### (基本的事項)

第9条 この会は、パートナーシップによる「対話と合意形成」を基本とし、環境の都づくりに向けた先導的な事業を行う。



**(会則の変更)**

**第 10 条** 会則の変更は、必要に応じて総会の議決を経て事務局会議において行うことができる。

**附則**

この会則は、平成13年8月20日から施行する。

**附則**

この会則は、平成15年6月10日から施行する。

**附則**

この会則は、平成16年7月13日から施行する。

## 役員名簿

### 平成14年度

役職名	氏名
代表	鶴野 高資
副代表	栗津 達雄
副代表	後藤 和夫
会計	湯川 智子
事務	永井 眞由
監査	南 紘之
監査	高山 美代子

### プロジェクトリーダー名簿

プロジェクト名	氏名
環境教育	西村 日出男
里山再生	加藤 克巳
エコチーム	江川 宗治
エコストア	桑垣 豊
生ゴミと農業	後藤 和夫
歩いてまち再発見	市木 哲夫
情報ネットワーク	永井 眞由

### 平成15年度

役職名	氏名
代表	鶴野 高資
副代表	栗津 達雄
副代表	大日 美紀子
会計	湯川 智子
監査	南 紘之
監査	高山 美代子
企画・渉外	鶴野 高資
企画・渉外	大日 美紀子
ニュース・広報	鶴野 高資
記録・報告書	栗津 達雄
記録・報告書	市木 哲夫
名簿	高山 美代子
名簿	湯川 智子

(平成15年12月～平成16年5月  
栗津達雄が代表代行)

### プロジェクトリーダー名簿

プロジェクト名	氏名
環境教育	西村 日出男
里山再生	加藤 克巳
エコチーム	江川 宗治
エコストア	桑垣 豊
生ゴミ減量	栗津 達雄
町再発見	市木 哲夫
情報ネットワーク	鶴野 高資
ピオトープ推進	湯川 智子
『環境の都』の 花を咲かそう	大日 美紀子

平成 16 年度

役 職 名	氏 名
代 表	江 川 宗 治
副 代 表	栗 津 達 雄
副 代 表	加 藤 克 巳
副 代 表	西 村 日 出 男
涉 外	湯 川 智 子
涉 外	村 上 薫
広 報	草 場 克 彦
会 計	小 根 田 勝 信
監 査	木 村 禎 志
監 査	田 原 誠 一 郎

平成 17 年度

役 職 名	氏 名
代 表	江 川 宗 治
副 代 表	栗 津 達 雄
副 代 表	西 村 日 出 男
副 代 表	加 藤 克 巳
会 計	小 根 田 勝 信
涉 外	湯 川 智 子
涉 外	村 上 薫
広 報	草 場 克 彦
監 査	木 村 禎 志
監 査	田 原 誠 一 郎

プロジェクトリーダー名簿

プロジェクト名	氏 名
環境教育	西 村 日 出 男
里山再生	加 藤 克 巳
エコチーム	江 川 宗 治
ビオトープ推進	草 場 克 彦
花咲かそう	湯 川 智 子

プロジェクトリーダー名簿

プロジェクト名	氏 名
環境教育	西 村 日 出 男
里山再生	加 藤 克 巳
ビオトープ	小 根 田 勝 信
エコチーム	村 上 薫
花を咲かそう	湯 川 智 子



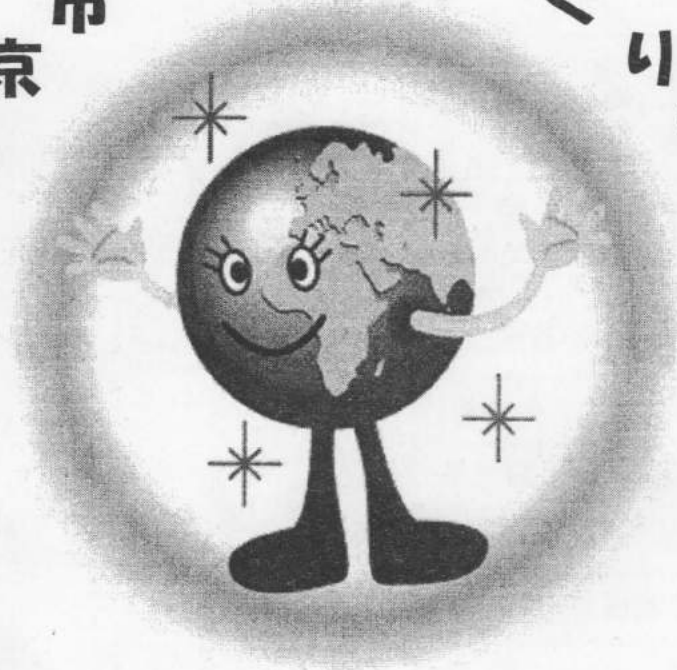
## 平成 18 年度

役 職 名	氏 名
代 表	江 川 宗 治
副 代 表	栗 津 達 雄
副 代 表	西 村 日 出 男
副 代 表	湯 川 智 子
会 計	田 原 誠 一 郎
渉 外	加 藤 克 巳
渉 外	村 上 薫
広 報	草 場 克 彦
監 査	木 村 禎 志
監 査	小 根 田 勝 信

### プロジェクトリーダー名簿

プロジェクト名	氏 名
環境教育	西 村 日 出 男
里山再生	加 藤 克 巳
ビオトープ	小 根 田 勝 信
〃 サブ	井 上 巖
〃 サブ	奥 西 弘 武
〃 サブ	神 山 忠
〃 サブ	渡 邊 節 郎
エコチーム	村 上 薫
〃 サブ	田 原 誠 一 郎
花を咲かそう	湯 川 智 子
まち歩き	柳 沼 宣 裕

長岡京市環境の都づくり会議



平成19年5月1日発行

発行者：長岡京市環境の都づくり会議

責任者：代表 江川宗治

事務局：長岡京市開田1丁目1番1号

長岡京市環境政策推進課内